

平成30年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

特別養護老人ホーム サンシャインビラ

短期入所生活介護 (ショートステイ)

平成30年度事業報告(総括)

1. 基本目標

本年度の重点目標である「笑顔を絶やさず、喜びを引き出そう！」を合言葉に全職員で取り組み、利用者様の個性を大切に『その方らしい生活』を支援し、利用者様も職員も笑顔多く過ごすことができました。

福陽会基本理念

- ① 利用者様の心身共に健康な生活を保持する
 - ② 利用者様の個性を尊重した生活を配慮する
 - ③ 生活に希望と生き甲斐を持てるよう環境の整備と季節感ある行事を行なう
- を全員で朝礼において唱和することで新人職員にまでも周知ができました。

年間を通しての利用者様は以下の通りである。

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
2977	3087	2977	3046	3019	2936	3062	3072	3091	3081	2807	3098	36143

年間延利用者数 36143 人でした。

平成30年度は1年間365日でしたので、1日平均99.02人の利用者様にケアを提供させていただいた結果となりました。

平成31年3月31日現在において、要介護4の方が34名・要介護5の方が52名と入所者の86%を要介護状態の重度の方が占めています。

ターミナルケアの希望も多くあり、22名の方を看取らせていただきました。医療ニーズは今年度も高く、施設顧問医師への依存度が大きくありました。ターミナルケアにより看取らせていただいた利用者様のご家族様等から感謝の言葉や満足の言葉を多くいただき、職員一同の励みとなりました。また、今年度の大きな出来事として、エレベーターのリニューアル工事がありました。約一か月程の間、エレベーターの使用ができず利用者様にもご家族様等にもご迷惑をおかけすることになりましたが、皆様のご理解とご協力により、無事にリニューアル工事が終了しました。安全性が高まり、安心して使えるようになり、エレベーターがきれいに生まれ変わりました。

2. 基本方針

基本方針である「明るい笑顔の絶えない家族・ふれあいのある大きな家庭づくり」を目標に地域社会との交流を深めました。

- ・職員ひとりひとりが利用者様の意向を把握し、尊重するケア提供を行いました。
- ・各行事、地域の方々に参加していただき、地域との交流を深めました。
- ・尊厳を保持し、自立を支援ができるように介護職員の内部研修とOJTを強化しました。

3. 長期目標

- (1) 法人理念の実現向け、法人内の各事業所同志が連携を強化しました。
- (2) 地域との交流を大切にし、地域の福祉ニーズに応えるべく努力しました。
緊急の入所等に対応する体制をつくりました。
- (3) 職員間で情報の共有ができました。

職 員 構 成

平成 31 年 3 月 31 日現在

担 当 職	職 名	職 員	非 常 勤	
運 営 管 理	設 顧 問 医		1	
	産 業 医		1 (外部委託)	
	施 設 長	1		
経 理	事 務 長	1		
	事 務 員	1	1	
保 守 管 理	介 助 員	1	1	
介 護	生 活 相 談 員	1	1 (兼務)	
	ケアマネージャー	2 (兼務)	1 (兼務)	
	1 F	リーダー	1	4
		担 当 者	8	
	2 F	リーダー	1	7
		担 当 者	5	
	3 F	リーダー	1	8
		担 当 者	7	
医 務	医 師	—	1 (施設顧問医) 2 (外部委託)	
	看 護 主 任	1	—	
	看 護 師	3	—	
	准 看 護 師	1	1	
調 理	管 理 栄 養 士	1	—	
	調 理 員 リーダー	1	2	
	調 理 員	4		
機 能 訓 練	柔 道 整 復 師	1	—	
	理 学 療 法 士	—	1	

会議・懇談会・委員会開催状況報告書

介護保険法とその他法令や条例等を理解し、利用者様の安心で安全な生活支援を行うために職員間で共通の認識を持つために各種会議と委員会を行いました。

・運営会議	12回	・拘束廃止委員会	12回
・衛生会議	12回	・褥そう防止委員会	12回
・感染症対策会議	12回	・厨房委員会	12回
・衛生委員会	12回	・口腔衛生管理委員会	17回
・全体会議	12回	・排せつ委員会	4回
・入所判定会議	35回	・介護課程推進委員会	12回
・事故防止会議	48回	・見守り機器委員会	4回
・看取り介護会議	77回	・看護と介護の連携委員会	4回
・虐待防止会議	11回	・活動責任者委員会	2回
・苦情対策会議	11回	・サービスマナー委員会	1回
・栄養会議	48回	・職員福利厚生委員会	2回
・防災会議	13回	・その他会議	21回
・行事計画会議	12回	・利用者懇談会	6回
・ケアプラン会議	88回	・主任リーダー会議	15回

職員の健康管理・労働環境の整備等労働衛生管理

(1) 定期健康診断の実施

従前より、対象となる全職員に対し、労働安全衛生法上の定期健康診断を行っています。

30年度は、4月に64名、11月に夜勤業務を行う職員等34名が受診しました。

(2) 定期健康診断後の面接と結果に基づく保健指導等

定期健康診断の結果が明らかになる時期に、日本医師会認定産業医 高妻雅和医師（以下 産業医と表記）により 有所見者を対象に面接を行い、個別に健康教育・保健指導等が実施されました。

(3) 衛生会議の実施

月に一度、施設顧問医師の指導・助言により、衛生管理者が有所見の改善に向けた食生活等に関するプリントを配布し、健康管理に関する情報の提供を継続的に実施しています。

(4) 館内の労働環境整備

- ① 年間を通じて空調整備を行い、インフルエンザ・ノロウイルス等の感染症対策・利用者及び職員の体調管理の為に、温湿度管理やカビ対策を行っています。感染症が発生した場合は、蔓延防止の為に指針を踏まえ各職員が機動的に行動できるように看護主任を中心に、網羅的な研修・指導を行います。
- ② 労働災害について対策を立て、職員全員で努力を継続しており、職員に危険が及ぶ状態にあると思われる備品・設備については、早めの報告により事故発生の防止に努めています。

職員の事故防止の為に日々、設備・備品の点検を行い不備や不具合にできる限り迅速に対応しています。

(5) メンタルヘルスについて

10月に外部委託により、対象となる職員全員にストレスチェックを実施し、結果を集計しました。

今後も、産業医からの指導を全職員に周知する為の努力をはじめとし、職員一人一人が施設内の変化を広い視野で把握し、先見性を持った対応による労働環境改善ができるよう、実践的な労働衛生管理計画作成を継続します。

利用者外出・外泊・面会状況

	外 出		外 泊		面 会		
	人 数	延回数	人 数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4	39	13	0	0	75	330	11, 0
5	21	12	1	6	68	321	10, 3
6	5	2	0	0	62	302	10, 6
7	4	2	1	3	75	354	11, 4
8	7	3	1	5	71	377	12, 2
9	15	6	1	3	63	347	11, 6
10	9	2	1	8	75	333	10, 7
11	5	1	0	0	75	344	11, 5
12	5	1	2	3	77	359	11, 6
1	12	5	2	7	64	386	12, 5
2	0	0	0	0	70	278	9, 9
3	0	0	0	0	73	301	9, 7
合 計	122	47	9	33	848	4032	約11人

保険者別入退所状況

市区町村	入 所		退 所 (含死亡)		合 計	
	男	女	男	女	入 所	退 所
昭島市	1	2	0	2	3	2
あきる野市	1	1	0	0	2	0
三鷹市	0	1	0	1	1	1
練馬区	0	1	0	0	1	0
小金井市	1	0	0	0	1	0
日野市	0	1	0	0	1	0
中野区	0	2	0	0	2	0
品川区	0	0	1	0	0	1
町田市	0	1	0	0	1	0
小平市	0	1	0	0	1	0
八王子市	0	1	0	0	1	0
大田区	0	1	0	0	1	0
調布市	0	1	0	1	1	1
岩手県北上市	0	0	0	1	0	1
福生市	2	3	7	10	5	17
羽村市	0	0	0	1	0	1
立川市	0	0	0	1	0	1
新宿区	0	0	1	0	0	1
目黒区	0	1	0	1	1	1
世田谷区	0	4	0	0	4	0
合計	5	21	9	18	26	27

看 護

1、医務診察

定期的な医務診察時、医師の診療を補助し健康管理・内服管理・処置等を迅速かつ適正に処理しました。

- ① 内科 水曜日 青山美穂医師（施設顧問医師）
 木曜日 宗岡雅子医師
- ② 精神科 月曜日 高妻雅和医師
- ③ 歯科 火・金曜日 若林偵子歯科医師

2、利用者の健康管理

① 月1回は医師の診察を受け、バイタルサインを測定し、経過報告をしました。

3、年一回の利用者健康診断を平成30年5月15日（火）に100名の利用者様が受けました。

4、新入所の利用者様には入所時健診を、ご家族様等に説明し同意のもとで受けていただきました。

健康診断の結果は施設顧問医師がご家族等へ説明していただきました。

また、入所時にご家族様等は「緊急時・看取り介護時の医療行為等に関する意思確認書」と「看取り介護についての同意書」の説明を施設顧問医師から受け、同意の書類を作成しました。

5、外部の医療機関受診や入院等は、ご家族様等の意向を尊重し相談しながら進めました。

6、利用者様・ご家族等の希望を確認し、インフルエンザ予防接種を実施しました。（100名）

7、肺炎球菌の予防接種も、ご家族様等の希望を確認した上で、平成30年度に対象者25名が接種しました。

8、利用者様の薬の管理と内服薬の服薬介助を行い、ナース不在時の朝薬等の服薬介助は介護職員に指導・依頼しています。

9、口腔ケアの実施

利用者様の健康を保持増進するため、歯科医師・歯科衛生士と連携を図りました。歯科医師・歯科衛生士・看護師・看護職員・管理栄養士・ケアマネ・介護職員等多職種でのミールラウンドの実施により誤嚥の防止に役立ちました。

・職員定期健康診断

職員は4月（全対象職員）と10月（夜勤業務に従事する職員）に健康診断を実施しました。

健診結果は安全衛生会議で施設顧問医師の青山美穂医師より全体指導があるとともに、異常所見に対しては、あきる台病院に委託している産業医の高妻雅和医師より個人面談指導がありました。

（10名）

・職員のインフルエンザ予防接種は体質的に接種が出来ない者以外は、全員接種しました。（56名）

・感染症対策

施設顧問医師の指導助言のもと、感染症に対する内部研修の実施とマニュアルの改訂、内容の厳守により、全職員の意識を高め確実な対応実施と自己管理の強化に努めました。

感染症を持ち込まないという意識をもち、職員一人一人が感染対策の基本をしっかりと行ったことで、利用者様のインフルエンザの発症はありませんでした。

・看取り介護の充実により、手厚い看取り介護の実施が出来ご家族様等から多くの感謝の言葉を頂きました。

・医師の診断のもと宣言にて利用者様・ご家族様等の希望により看取り介護を行いました。

平成 30 年度は 22 名の方を施設で看取らせていただきました。

- ・利用者様及びご家族等の意向を尊重し、多職種で連携して日々変化の様子をご家族様等へ密に連絡し、記録しました。
- ・看取り介護の終了後には、多職種で振り返りを行いました。
ご家族様等からは、多くの感謝の言葉をいただきました。
- ・その他

- ① 利用者様の心身の状態変化時等は、必ずご家族等に連絡をし、連絡時の内容等は記録に残しました。
- ② 長谷川式簡易スケールを用いて認知症の程度を確認し、医師に報告しました。
0 点以外の方は、概ね 3 ヶ月毎に確認しました。
- ③ 医療ニーズの高い利用者様も施設顧問医師を中心とする連携により生活していただくことが出来ました。(胃瘻からの経管栄養 1 名 バルンカテーテル 1 名)
- ④ バイタルサインや日々の状態変化は個人記録に入力して各部署との連携を強化しました。

生活相談員

平成 30 年度の全体目標は「笑顔を絶やさず、喜びを引き出そう」でした。生活相談員として、この目標を実現するために、第一に「利用者様及びご家族様に対して常に笑顔で接し、話しかけやすく、近づきやすい存在となること」また、第二に「利用者様が生活の中で様々な喜びを感じながら毎日を送れるよう支援すること」を課題として掲げ、業務にあたってきました。

利用者様の多くは、病気や障害によって不自由さや不安を感じておられます。さらに、施設という環境の中での生活は、制限の多いものです。苦情や不満がある方には、時間をとって話を伺い、解決を図りました。不満や悩みがあっても口に出せず、漠然とした不安感や気分の落ち込み等を十分に表現できない方たちもいます。じっくりと会話することでその方の思いを汲み取るように、対話を重視し、相談援助を行いました。

利用者様に一人一人が抱える困難さを理解し、思いを知り、他部署へ伝えることも生活相談員の役割と心得て、日々の業務に取り組みました。ただ、利用者様に大きな問題が起こるとその方に関わることが多くなり、ご家族様等との連絡も頻繁になります。大きな問題なく過ごされている方には、関わりが少なくなります。そのような方にも目を向け、時間をとって、信頼関係を築いていく必要があります。利用者様すべてに対して、公平性を保つことは、今後の課題の一つです。

「喜び」に繋がる分野として、年間を通して、様々な行事の計画や実施に携わりました。「外出の日」やドライブ、散歩、「手作りおやつ」を実施し、各種の活動にも協力しました。その中で利用者様の「喜び」を引き出すことができました。

また、これらの活動を通して、利用者様の興味や意向、希望を知ることができ、心理・社会面のアセスメントに役立てることもできました。

平成 30 年度、新しく入所された方は 26 名でした。居宅から 4 名、ショートステイ利用から 4 名、介護老人保健施設から 5 名、介護老人福祉施設（特養）から 1 名、病院から 8 名、有料老人ホームから 2 名、高齢者マンションから 1 名、障害者施設から 1 名でした。

また、福生市内の方は 6 名、都内の他市からは 11 名、区部からは 9 名で、以前に比べ様々な区や市から入所されるようになっていきます。介護老人福祉施設としての役割を果し、施設運営の安定化を

図るため、稼働率の安定に努めてきました。年間を通して、個人の入所相談・施設見学、様々な事業所・病院・市や区の担当者との情報交換や連絡調整等に取り組んできました。

西多摩地区全体の課題として、待機者の減少という問題がありますが、西多摩特養ガイド等を利用した23区や他市からの問い合わせは増加しています。

また、年間で退所された方は25名でした。内4名の方は入院されています。入所から退所の時まで、利用者様一人一人がその方らしく過ごせるように、支援を行いました。

利用者様とそこご家族様等の思いを受け止め、意向に沿えるように、他部署と連携を図って取り組みました。

平成30年度は、東京都社会福祉協議会生活相談員研修委員会の幹事として、秋川ブロックの他施設との連携を図り、都内の施設の様々な取り組みや課題を学ぶことができました。

介護支援専門員

- ・本年度目標「笑顔を絶やさず、喜びを引きだそう！」をケアプラン作成に反映できるよう意識しました。

業務を行う上で、今までと変わりはありませんが、介護支援専門員としての基本姿勢を意識させてくれる共通目標でもありました。

利用者様との関係を作っていくことを大切にし、お話を傾聴する姿勢を基本にし「この人は、私の話をしっかり聞いてくれる人」と思って頂けるよう努めました。

ケアプランの作成をする上では、利用者様の出来ない事や援助が必要なことは勿論のこと、「できる事＝その方の強み」と考え、その方らしさを支援していけるような内容で作成できるよう努めました。今後も多職種で協力しながら、取り組んでいきたいと思えます。

- ・定期のケアプラン見直し（三ヶ月、六ヶ月）実施は漏れなく行えました。また、状態変化に伴うケアプランの変更も行えたと考えています。
- ・会議日程の作成に関しては、ゆとりをもち五件程度までになるよう日程調整を行いました。
- ・ターミナルケア（看取りケア）、褥瘡ケア、ミールラウンド、適宜プラン作成が行えました。ターミナルケアの振り返りは、対応職員へのグリーフケア等、ひとつひとつのケースにつき、継続的に検討が必要であり、今後も取り組んでいきたいと思えます。褥瘡ケアについては、モニタリング指標を用い、作らない事を前提にリスクが高い方については予防策を策定しました。創部改善には各部署連携し対応をできるよう、今後もプランを作成します。
- ・ミールラウンドについては、経口からの安全な食事摂取が継続できるよう、各専門職が検討した結果を今後もプランに反映させていきます。
- ・緊急ショートステイの受け入れについても、可能な限り、柔軟に対応が行えたと思えます。各関係者の皆さんとも情報交換をし、ショートステイ利用期間中のプラン作成が行えました。
- ・介護保険の更新申請、認定調査への立ち合い、調査協力を都度行いました。今後もスムーズな介護保険更新が行えるよう、実施していきます。

1 階 フロアー

利用者様の生活の中で深く関わりを持ち「安心・安全」に生活が送れるように「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう」を合言葉としてフロアー職員一丸となり取り組みました。

・居室担当の役割

利用者様の心身状況をアセスメントするということに対し、職員の自覚が高まったと感じる一年でした。個人記録への入力については職員の力量に差があると感じますので、責任をもって取り組めるよう指導していきます。また、整容面においては職員通しで声を掛け合い、協力して、充実を図りました。

・フロアーレク

食前に行う「嚥下体操」もレクと捉えて毎日毎食前に行うことにより、定着して楽しく行えています。大きな声を出したり、笑ったりとすることで誤嚥防止だけでなくフロアーの雰囲気明るくなるという効果もありました。月曜日と木曜日はカラオケの日とし、歌を唄ったり音楽を聴いたり体を動かしたりと、利用者様の生活を活性化することに役立ちました。

予定していたフロアー活動の実施ができませんでした。

・事故防止

一日のほとんどの時間をベッド上で過ごす方が多かった以前の1階フロアーが、少しずつ様変わりして、車椅子への移乗も軽介助で可能な方や、自力駆動で移動される方等も生活されるようになり転倒事故等のリスクが高まっています。ヒヤリハットの提出、検証、予防策の考察等により職員間の意識統一と周知徹底により事故を防止するとともに職員個々のスキル向上に取り組みました。食事についてもフロアーナースと連携し、多職種とともにケアプランを通しその方に適切な食形態で誤嚥を防止し、更に食事量の確保もできました。

フロアーリーダーは、常に業務が円滑に行えているか、利用者様の意思を尊重しているかと評価し安全な食事介助ができるように業務を組み立てました、

・感染症予防対策

食事前後の手指消毒は毎日の日課として定着しています。

標準感染予防策の徹底と内部研修で学んだことの周知徹底の成果として、インフルエンザの流行期にも感染を持ち込むことなく施設での発症はありませんでした。

新入所の方で入所直後にインフルエンザが判明しましたが感染の拡大はなく、その方も回復しました。

インフルエンザ以外の感染症の発症はありませんでした。

・人材育成

OJTにより、先輩が後輩に指導助言を行い育成に取り組みました。育成するということの難しさも感じました。不足面の指導や指摘を行い、指導等の後には振り返りや確認を行いました。

今後の課題として、想定外の事態となったときにも冷静に対処できる、考える力を養うことが今後の課題です。

・定型業務

介護力の向上を目指し、利用者状況に合わせた食事、排せつ、口腔ケア等を組み立てました。

・災害時に備えて

防災グッズはいつでも使える状態に整備し整えました。防災会議の内容を毎月フロアー職員に伝達し、防災意識を高めることができました。

- ・褥瘡の予防

ケアプラン会議に向け、リスクをアセスメントして、発生を予防しました。また、退院時に発生し病院から治らないまま退院されてきた方の状態をフロアーナースや多職種との連携により完治出来たことは、ご本人様の苦痛の軽減と職員の自信になりました。

- ・看取り介護

静養室が1階にあることから、お看取りをさせていただく機会が多くあることが1階フロアーの特徴です。

利用者様とご家族様等が望む形の最期であるようにという思いで、ケアさせていただきました。

ご遺族様からの感謝の言葉が職員の励みになりました。また、看取りは職員の精神的な負担も大きくあります。振り返りや内部研修などにより、職員の精神面への配慮に努めました。

- ・その他

フロアー全体の様子として、職員間がぎくしゃくした時期がありましたが、その時期を乗り越えたことで、チームワークが強くなり現在は前向きに進んでいます。利用者様と向き合い、職員全員で笑顔で仕事を進めるように取り組み、強いフロアー作りをしました。

2 階 フ ロ ア ー

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を目標に、職員間で協力し合い取り組みました。

- ・尊厳を保持と自立の支援

フロアーの特性として、認知機能面での低下がおありであったとしても、ご自分の居室が分かるような方々が生活されています。その方々の生活支援では「意思の尊重」に重点をおきました。利用者様も職員も毎日が明るい気持ちで過ごせたとおもいます。

毎日の生活の中でのレクリエーション活動を充実することが課題として残りました。

少しの時間でも、少人数でも等と意識を持ち、利用者ニーズに合わせた活動支援が必要でした。年に1度と予定していたフロアー活動は来年度に持ち越します。

- ・居室担当の役割

利用者様の整容面に力を入れた一年間でした。

個人記録への日々の入力については、職員に力量の差がありました。

個人記録をもとにアセスメントし、施設サービス計画書の策定時にケアマネに提出し支援内容の検討に役立てました。

- ・事故防止

ヒヤリハットの検証を元に、再事故防止策として決めたルールや支援方法を実行し、事故となる事を防ぐ努力をしましたが、平成30年度は骨折事故が1件ありました。

- ・感染症の予防

内部研修により、標準感染予防策の徹底と感染予防に対する知識を得ることが出来ました。

インフルエンザの流行期にも利用者様のインフルエンザ発症がありませんでした。

年間を通しての標準感染予防策の周知と徹底は今後も必要不可欠です。

職員自身と職員の家族には、インフルエンザや風邪等に罹患した者もありましたが施設に持ち込むことはありませんでした。湿度管理と換気にも力を配り、環境整備の徹底を継続します。

- ・非常災害時に備えて

人命の救助を第1と考えて行動することが身に付いてたと思います。

3 階 フロアー

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を合言葉に認知に障害を有する利用者様が安心して安全に毎日を過ごせるようにと、職員が一丸となり、支援を行いました。介護力の向上

・人材育成と介護力の向上

新入職の職員には、エルダーメンター制度により育成に取り組みました。新入職員の早期戦力化を目指してフロアー内のコミュニケーションを活発にして取り組み職員の活性化につながった 反面、新入職の職員にはきつい面もあったように感じ、反省する点もあります。

新入職の新人職員、中堅職員、ベテラン職員全ての職員が内部研修に参加し、支援方法の見直しや再確認ができ、知識と技術の向上が図れました。

職員の意見を大切に「提案」しやすい環境を作り、提案を形にするように取り組みました。

その後の結果についても話し合いを持ち、更に良い結果を求めて進みました。

・生活の活性化

職員は、内部研修や外部研修で認知症を学び、利用者様への理解を深め、その方に合ったコミュニケーション手段を用いてその方の気持ちを深く理解できるようにしました。

毎日の生活のメリハリを大切にし、日々のフロアーレクに重点を置きました。

食事前の嚥下体操、週 2 回のカラオケ、ボールゲームや歌集を使つての歌の会等を利用者様の意向を確認しながらレクリエーション活動の充実を図りました。

日常的な充実については、成果が出ましたが、フロアー予算を使つての活動が残念ながら実施できませんでした、次年度に合わせて企画、実施していきます。

・感染症の予防

食事前後の手洗い介助やトイレ誘導後の手洗い介助や手指消毒が定着しました。

また、フロアーの特性から消毒用の薬剤等は職員が個人個人常に携帯し頻繁な消毒を行った結果、平成 30 年度はインフルエンザ等の感染症を持ち込むこともなく、感染症の発症も蔓延もなく過ごせました。

職員の体調不良時は、必ず医療機関に受診し、その結果を施設に報告し、出勤の相談と調整をしました。そのことが、職員自身感染症の媒介者にならずに済んだ成果です。

・事故防止

ご自身で動くことができる利用者様の転倒等のヒヤリハットがたくさんありました。その都度検証し、原因に対する予防策を立て、予防策を皆で実行することにより重大な事故を防止しました。

しかし 1 名の方に 2 回の骨折事故があり、行政への届け出をしました。

・非常時に備えて

避難経路は常に片づけておき、整理整頓し、環境整備に力を入れました。防災グッズについても整備しいつでも使用できるようにし、職員間で周知徹底を図り、職員の防災意識を高めました。

・居室担当について

ちょっとした空き時間を有効に利用し、担当居室の環境整備をし、清潔な環境での生活を支援しました。担当利用者様の生活の様子や心身の状態を観察し記録しアセスメントに役立てました。

今後も、担当利用者様の生活に責任を持つという意識と自覚高めていきます。

・その他

今後も「不適切ケア」に対する認識と「虐待」に対する知識を持ち、認知症ケアを推進します。

リハビリ

利用者様の日々の身体状況の変化と精神面の変化をアセスメントし、心身状態に変化が見られた際には訓練内容の変更等を行い利用者様個々の状態に合った訓練を安全に気を付けて行いました。

日常生活に定着した個別機能訓練計画書を作成し、状態の変化に応じて多職種での意見交換を行い、計画書の内容を検討しつつ、理学療法、生活リハビリでの個別機能訓練を行いました。

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を目標に他部署との意見交換も行うことができました。

- ・ 個別機能訓練の実施記録はパソコン入力し、情報を他職員と共有することで連携がスムーズとなり、利用者様の状況把握に役立てました。
- ・ ケアプラン会議に出席し各担当者と意見交換を行い状況に応じた訓練内容の再検討をしました。
- ・ 個別機能訓練計画の内容は、利用者様・ご家族様に説明し同意を得、計画書をお渡ししました。
- ・ 訓練を実施し、計画の長期目標と短期目標の達成を目指し、3ヶ月ごとに評価と達成度を確認し次の計画作成時に役立てることができました。
- ・ 利用者様の状態変化時には、看護師やケアマネ等と連携を図り、個別機能訓練計画の中止や変更を行い、変更時には利用者様、ご家族様へ説明をし、同意をいただきました。
- ・ 訓練内容については利用者様の要望、身体状況を考慮し、棒体操、平行棒、段昇降器、セラバンドなどを使用して訓練を行いました。
- ・ 季節感のある行事、その他活動を生活リハビリの一環と考え、行事や活動の準備等、利用者様が参加できるように働きかけを行い機能維持と活性化に役立てました。
- ・ 車椅子使用者のシーティングについても生活相談員、理学療法士、看護師等とニーズに合ったものを使用できるように検討し、利用者様の座位姿勢の安定、改善に取り組みました。
座位姿勢が安定しにくい方もおり、座り直し介助、シーティングについての内部研修などは継続し、利用者様の様々な状況に対応していきます。
- ・ 半期に一度の割でベッドと車椅子の点検を行いました。必要に応じて交換、修理、業者への修理依頼を行いました。また利用者様の状態に応じたのサイドレールの調整も行いました。
福祉用具の数などは下記に記します。
- ・ 歯科医師や歯科衛生士からミールラウンドの報告、訓練方法、姿勢保持の指導助言を受けて介護職員へ車椅子上での座位姿勢の指導や確認を行いました。
- ・ 感染症・事故防止・虐待防止・拘束の廃止等についての内部研修に参加し、他部署職員と共通の知識や認識を持ち、業務にあたりました。事故防止についてはヒヤリハットの検証に参加し事故の発生原因を検討し、再発防止策について多職種で話し合いを行いました。
虐待防止のためにアンケートの実施、集計、それを元に振り返りを行いました。
- ・ 褥瘡を防止するにあたり、利用者様の褥瘡予防、褥瘡を有する場合は早期の治癒を目指しました。
看護師等との連携を図り、皮膚状態の変化によっては、迅速にマットやクッション等の必要物品の変更などを行い、皮膚状態の悪化を防止しました。褥瘡予防具についても購入の検討、古いものから新しい物への入れ替え等を行いました。
- ・ 寝たきりの利用者様において、理学療法では関節可動域拡大訓練を中心に行いました。
また拘縮予防を図る為の体位やクッション等の当て方については外部研修へも参加し、介護職員に対し内部研修等を行い指導しました。
- ・ 災害については常に念頭に置き、訓練室内の環境整備、非常口、消火器等の位置の確認をし非常時の行動を意識しながら業務にあたりました。

(福祉用具一覧表)

車椅子	95台	
歩行器（シルバーカー含む）	16台	
杖（T字杖、多点杖）	13本	
ポータブルトイレ	6台	
体圧分散マット（ジェルマット含む）	22	
エアマット（自動体交機能付き含む）	11	
施設内のベッド数		
電動ベッド	103台	
手動ベッド	1台	
パイプベッド	1台	総数105台

栄 養

福陽会の理念をもとに旬の食材を取り入れた季節感のあるメニューや家庭的で温かみのある食事内容・境作り、衛生面等に配慮し安心安全な食事を提供することを目標に平成30年度は業務に臨んできました。次年度も引き続き、季節の食材を使用した献立、利用者様からの聞き取りで得られた意見や要望に沿える献立の作成を行います。調理方法や食材の硬さ、食べやすい大きさ等の情報を職員間でしっかりと共有し、器や盛り付け等、見た目からも「食べたい」と思ってもらえるような食事提供を目標に業務に取り組んでいきます。

食事を楽しんで召し上がって頂く為に、選択食や誕生日食・ラーメン(中華丼)の日の実施、季節に応じたおやつ提供、極細・ペースト食を召し上がる利用者様へ安全で見た目が良いソフト食の提供を次年度も継続していきます。

■選択食等通常メニューと異なる食事提供の実施結果

選択食（ラーメン炒飯の選択も含む）	: 月2回以上
誕生日食	: 月1回
変わりご飯（丼・混ぜご飯）	: 月2回以上
パン・麺の日	: 月2回以上

■予算管理

給食食材費の予算内運営を目標に、在庫管理の徹底や使用食材の見直しを行いました。次年度も食材ロスや使用頻度が多い食材の価格変動等に注意し予算内運営を目指します。

■利用者様の健康管理

月に1度の体重測定結果や年に1度の健康診断時アルブミン値・血液データの管理、食事摂取量の把握で利用者様の栄養状態を確認しました。栄養状態に問題がある場合は、施設顧問医師の医務診察やケアプラン会議の際に提起し医師の指導助言や多職種で話し合いを行い、状態改善や維持・向上に努めました。必要量を召し上がることが困難な利用者様に対し補食の提供を行い、負担を減らすことで経口摂取の維持ができていると考えます。

■感染症の予防

手洗い・うがいの徹底、厨房外へ出る際の服装、次亜塩素酸によるトイレの消毒、厨房内の衛生管理、厨房器具の消毒、体調チェックを行い、感染症予防に努め、厨房からの感染拡大に注意し取り組みました。その結果、ノロウイルス等の感染症・食中毒の発症はありませんでした。

■ヒヤリハット件数

前年度のヒヤリハット件数は合計で7件でした。

内容は、配膳ミス：5件 その他：2件（発注ミス・検品ミス）今年度のヒヤリハット件数は配膳ミス：5件 その他：2件（異物混入・配膳車移動時のミス）の合計7件、苦情1件（食材の硬さ）となりました。次年度も配膳ミスや怪我のないよう、お互いに声かけを行いながら、利用者様に安心安全な食事の提供ができるよう努力していきます。

職員外部研修参加状況

○外部研修への参加は、知識・技術の向上に役立ち、研修に参加者した職員から参加しなかった職員へ内容を伝達し、共通の認識を持てるようにしました。

4月26日	認知症介護基礎研修	1名参加
5月15日	特定給食施設 栄養管理講習会	1名参加
5月18日	安全運転管理者 定期総会並びに定期講習会	1名参加
5月20日	生活相談員研修委員会	1名参加
5月22日	安全運転管理者講習会	1名参加
5月23日	介護報酬請求事務に関する研修会（基礎編）	1名参加
5月25日	福生市介護保険事業者連絡協議会総会	1名参加
5月31日	特養経営支援補助金事務説明会	1名参加
6月29日	秋川ブロック平成30年度 第1回ブロック会	1名参加
6月29日	認知症に関する研修会	2名参加
6月30日	秋川ブロック生活相談員研修会	1名参加
6月30日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
7月18日	ソーシャルワーク研修会打ち合わせ	1名参加
7月30日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
8月9日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
8月20日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
8月22日	消防懇話会 定期総会及び懇親会	1名参加
	高齢者の食支援に関する研修会	1名参加
8月27日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
9月13日	社会福祉事業従事者 人権研修Ⅰ	1名参加
9月21日	生活相談員研修委員会	1名参加
10月16日	東京都老人福祉施設等感染症対策指導者養成研修	1名参加
10月19日	秋川・青梅合同ブロック会「看取り」研修会	1名参加
10月23日	社会福祉施設における労務管理講習会	1名参加
10月26日	東京都立福生高等学校定時制課程学校連絡協議会	1名参加
10月30日	AⅠによる高齢者の自立支援・重症化予防	2名参加
11月9日	防火の集い	1名参加
11月16日	生活相談員研修委員会	1名参加
	ソーシャルワーク研修会	1名参加
11月30日	介護報酬請求事務に関する研修会（応用編）	1名参加
12月7日	地域包括ケアと食べる幸せを守る栄養士の使命	1名参加

12月14日	秋川ブロック生活相談員研修会	1名参加
12月17日	秋川ブロック 第2回ブロック会	1名参加
1月12日	ソーシャルカフェ in 飯田橋 ～みんなが笑顔で前向きにいなる研修～	1名参加
1月16日	高齢者福祉施設の中堅職員のための能力開発研修会	3名参加
1月18日	生活相談員研修委員会	1名参加
2月5日	東京都立福生高等学校定時制課程学校連絡協議会	1名参加
2月15日	秋川ブロック生活相談員研修会「情報・意見交換会」	1名参加
2月19日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
2月20日	平成30年度第2回指定更新事業者研修会 認知症介護基礎研修	1名参加
2月26日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ	1名参加
3月8日	生活相談員研修委員会 秋川ブロック 第3回ブロック会	1名参加
3月15日	生活相談員研修委員会 全大会 「生活相談員が施設の人財であるために」	1名参加
3月20日	介護支援専門員専門研修課程Ⅱ実務経験者向け更新研修	1名参加
3月26日	同上	
3月27日	同上	

内 部 研 修

職員としての心構え・基本理念・基本方針を正しく理解するために、研修委員会を中心に介護職員の知識と技術の向上と全職員の資質の向上に取り組みました。

サービスマナーの実践で「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう」を実現できました。

4月25日	「法人理念・職業倫理」	4月27日	「守秘義務」
5月16日	「サービスマナー」	5月25日	「認知症」
6月22日	「感染症」	6月27日	「排せつ」
7月25日	「褥そう」	7月27日	「介護過程」
8月22日	「事故防止」	8月24日	「介護技術」
9月26日	「法人理念・職業倫理」	9月28日	「看取り介護」
10月24日	「サービスマナー」	10月26日	「虐待・拘束」
11月23日	「感染症」	11月28日	「守秘義務」
12月26日	「褥そう」	12月28日	「認知症」
1月23日	「事故防止」	1月25日	「排せつ」
2月22日	「看取り介護」	2月27日	「介護過程」
3月15日	「口腔ケア」	3月27日	「虐待・拘束」

平成30年度は内部研修を頻繁に行い、正職員・非常勤職員ともに多くを学びあいました。

学んだ知識と技術を仕事に活かせる様に取り組み、質の高いサービス提供が出来ました。

新入職員にはオリエンテーションを行い、指導担当者による指導と業務内で行うOJTの強化により、介護技術の習得が出来、新人職員の定着につながりました。指導にあたる先輩も指導を受ける後輩も、共に学び合うことで職員間の良好な人間関係が構築されま

苦 情 報 告

苦情対策会議を毎月開催し、利用者様やご家族様等、その他の方からの苦情・要望・意見、また「ご意見箱」に入れられていた意見等を取り上げました。苦情等の内容、行なった対応、改善すべき点や取り組むべき課題等を検討しました。さらに、苦情を受けた時の対応、連絡・報告の方法についても話し合いました。

【議題として取り上げた主な苦情・要望・意見】

- | | |
|-------------|----------------------------------|
| (1) 利用者様より | ○職員の態度や言葉遣いに対する苦情、不満・・・・・・・・・・4件 |
| | ○環境整備に関する意見・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件 |
| | ○他利用者への苦情・・・・・・・・・・・・・・・・・・2件 |
| | ○食事に関する意見、その他・・・・・・・・・・・・・・・・3件 |
| (2) ご家族様等より | ○職員の態度についての苦情・・・・・・・・・・・・・・・・2件 |
| | ○個人の持ち物の扱い方に関する苦情・・・・・・・・・・2件 |
| | ○連絡不足の指摘・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件 |
| | ○環境整備に関する苦情・・・・・・・・・・・・・・・・・・1件 |
| (3) 評価 | ○ご家族様より利用者様対応についての評価や感謝・・26件 |
| | ○見学者等からの良い評価・・・・・・・・・・・・・・・・2件 |
| | ○地域の方々からの良い評価・・・・・・・・・・・・・・・・2件 |

*利用者様やご家族様からの苦情や要望は、サービスマナーや虐待防止を考える上で貴重な意見であり、それを検証することで日頃のケアを見直し、改善を図ることができました。

*第三者委員の方が、1か月に1回来園してくださり、利用者様のご意見やご要望を聞き取ってくださり利用者様にとっても、職員にとっても、施設運営の面においても良い効果がありました。

事 故 防 止

事故防止会議は、施設顧問医師の指導のもと、毎週水曜日に開催しました。ヒヤリハットや事故の主な事例を検証し、原因を究明すると共に、次の事故を防止する対策を検討しました。年間で47回、開催しています。

また、事例の中で、医療機関への受診が必要となった事例や、原因の特定に更に検討が必要な事例については、委員会にてより詳しい検証を行ないました。

平成30年度のヒヤリハット事例は、254件でした。

事例の発生時には、発見者は介護職員、看護職員、機能訓練指導員、生活相談員等に連絡し、多職種で検証を行いました。

その場で原因を考察し、ヒヤリハット報告書を作成、可能であればすぐに対応策を実施しました。

行政に報告を行なった事故は3件でした。3件は、転倒等によって受傷し骨折と診断され、入院、治療を受けたものです。いずれの方も退院され、事故前の生活に戻っています。

排 泄

排泄面の向上を目指し、プライバシーへの配慮と正しい排泄介助方法を学び、介護者としての心構えと、技術の習得に取り組みました。

利用者様一人ひとりに合わせた使用物品の選択はフロアーの排泄委員とフロアーリーダーの意見を参考にしながら行いました。

委 員 会 報 告

「笑顔を絶やさず喜びを引き出そう！」を実現できるよう、利用者サービスの質の向上を目的とし、各委員会を開催しました。

毎月1回、各部署の代表者で、会議をしたので、検討事項や決定事項の周知徹底が図れました。

研修委員会

人材育成とサービスの質の向上に取り組みました。

エルダーメンター制度により、指導担当職員が新人介護職員を指導にあたり、OJTを強化しました。

新入介護職員に対しての、入職時のオリエンテーションを施設長と介護リーダーが行うことにより、充実したオリエンテーションになりました。

一般職員に対しては、毎月の全体会の時間を利用し内部研修を実施しました。内部研修時には、勤務の調整をし、一人でも多くの職員が出席できるようにしたことが、周知徹底と共通の認識を持つという事に効果的でした。

正職員も非常勤職員も介護職以外の職員も全員で取り組むことが出来ました。

研修報告書をアンケート方式にした事は、参加職員の負担軽減になりました。

口腔衛生管理

委員会の会議録と口腔機能維持管理にかかわる助言内容の会議録により、全介護職員とその他関係職員が共通の認識を持てるようにしました。

褥瘡防止委員会

毎月委員会を行い、全職員に注意喚起できるように取り組みました。各部署の協力体制が出来て、皮膚の状態に心配のある方に対して早期対応が出来たとは、成果です。

拘束廃止委員会

拘束は長期にわたり「0」です。拘束を行なうことの弊害を職員全員が理解して介護サービスを提供しています。今後も意識を高く持ち、拘束「0」の状態を維持して行きます。

排泄委員会

排泄の向上に取り組みました。コストに対する意識がいったんは高まったのですが、年度の最終段階に近くなるころから、少しずつ薄らいで来たように感じましたので、今後また更に意識を高めていきます。

厨房委員会

利用者様の「食」に対する、希望を少しでも実現に近づけることが出来るように、各部署で協力し、検討や相談をすすめました。利用者様の声を献立に反映しました。

活動責任者委員会

4月には新旧の担当者の引き継ぎを行い、10月には11月3日の文化祭に向けての打ち合わせ等を行ないました。

忘年会活動報告書

場 所 : 昭島フォレストイン昭和館

日 時 : 平成29年12月6日(木) 19:00 ~ 21:30

費用合計 : ¥、513,744

参加人数 : 42名 1人当たり¥、12,232

- ・参加者は楽しく飲んだり、食べたりし、日常の労をねぎらうことができました。
- ・法人内の他施設等との親睦も深めることができました。

また、今年度から「永年勤続表彰」が始まり、永く働く喜びと法人への感謝の気持ちを再確認できました。「これからも頑張ろうという気持ちになりました。」と表彰を受けた職員からの声がありました。

職員旅行活動報告書

場 所 : 徳川ミュージアム～メロン食べ放題～那珂湊漁港

日 程 : 第1班 5月24日(木) 15名・第2班 6月7日(木) 16名
第3班 6月21日(木) 13名

参加人数 : 44名

費用合計 : ¥、937,294 1人当たり ¥、21,302

幹事の感想

(1班) 皆さん笑顔で楽しく過ごせました。

(2班) ドライブの時間が長かったですが、車酔いする方もなく楽しく行ってきました。

(3班) お菓子の小分けを人数分作り好評でした。楽しかったと皆様の感想が聞けました。

ク ラ ブ 活 動

それぞれの利用者様、一人ひとりの生活の充実と残存機能を発揮する場としての活動を行うことができました。生活リハビリの一環として、それぞれの活動への参加は非常に有効な時間となりました。

茶 道

活動回数	18回	参加延人数	230名	平均参加人数	13名
活動報告	文化祭では多数の方が参加してくださり「美味しい」と笑顔になっていました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	7日 12名・21日 11名・8日 2名	10月	20日 12名		
参加人数	45名		参加人数	12名	
5月	26日 12名	11月	3日 32名・17日 12名 *文化祭の御菓子 80個		
参加人数	12名		参加人数	46名	
6月	2日 12名・16日 13名	12月	1日 12名・15日 12名		
参加人数	25名		参加人数	24名	
7月	14日 12名	1月	5日 12名・19日 12名		
参加人数	12名		参加人数	24名	
8月	18日 12名	2月	2日 12名		
参加人数	12名		参加人数	12名	
9月	15日 12名・29日 12名	3月	講師のご都合で活動はありませんでした		
参加人数	24名		参加人数	実施1回	1名

華 道

活動回数	24回	参加延人数	288名	平均参加人数	24名
活動報告	皆様、がんばって取り組んでいました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	活動2回		10月	活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	
5月	活動2回		11月	活動2回（文化祭）	
参加人数	24名		参加人数	活動 27名	
6月	活動2回		12月	お正月の花を活けました 活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	
7月	活動2回		1月	活動2回	
参加人数	25名		参加人数	24名	
8月	活動2回		2月	活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	
9月	活動2回		3月	活動2回	
参加人数	24名		参加人数	24名	

書 道

活動回数	23回	参加延人数	320名	平均参加人数	14, 5名
活動報告	講師の先生とボランティアさんの協力により、有意義な時間となりました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	7日 14名・21日 12名・		10月	6日 10名・20日 12名	
参加人数	26名		参加人数	22名	
5月	5日 20名・19日 18名		11月	17日 12名	
参加人数	38名		参加人数	12名	
6月	2日 12名・16日 13名		12月	1日 13名・15日 16名	
参加人数	25名		参加人数	29名	
7月	14日 17名・21日 11名		1月	5日 13名	
参加人数	28名		参加人数	13名	
8月	4日 14名・18日 14名		2月	2日 12名・16日 15名	
参加人数	28名		参加人数	27名	
9月	8日 16名・15日 16名		3月	2日 18名・16日 18名	
参加人数	32名		参加人数	36名	

紙芝居

活動回数	12回	参加延人数	559名	平均参加人数	46, 5名
活動報告	1階・2階・3階を順に回り、一時の時間を楽しく過ごしていただきました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	4月29日に活動		10月	10月21日に活動	
参加人数	56名		参加人数	42名	
5月	5月7日に活動		11月	11月25日に活動	
参加人数	58名		参加人数	43名	
6月	6月10日に活動		12月	12月23日に活動	
参加人数	60名		参加人数	31名	
7月	7月22日に活動		1月	1月13日に活動	
参加人数	16名		参加人数	8名	
8月	8月5日に活動		2月	2月3日に活動	
	54名		参加人数	42名	
9月	9月23日に活動		3月	3月24日に活動	
参加人数	57名		参加人数	49名	

音楽療法活動報告

活動回数	22回	参加延人数	494名	平均参加人数	22名
活動報告	音楽に合わせて身体を動かす事により ADL 低下防止につながってます。 季節の歌を取り入れる事により季節感を感じる事ができた。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	9日 20名・20日 27名		10月	11日 20名・25日 18名	
参加人数	47名		参加人数	38名	
5月	11日 18名・30日 18名		11月	8日 18名・22日 20名	
参加人数	36名		参加人数	38名	
6月	8日・29日		12月	13日・20日	
参加人数	38名		参加人数	50名	
7月	30日 21名		1月	24日 18名・31日 22名	
参加人数	21名		参加人数	40名	
28	10日 20名・17日 21名		2月	21日 21名・28日 22名	
参加人数	41名		参加人数	53名	
9月	22日 39名		3月	22日 23名・29日 30名	
参加人数	39名		参加人数	53名	

ス ポ ー ツ

活動回数	24回	参加延人数	572名	平均参加人数	23名
活動報告	体を動かし笑顔がたくさん見られました運動会を、10月5日に盛大に開催できました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	3日18名・8日24名・9日27名・ 15日20名・22日16名		10月	7日11名・22日32名	
参加人数	105名		参加人数	43名	
5月	5日32名・13日5名・17日28名		11月	6日 33名・11日 42名・26日 26名	
参加人数	75名		参加人数	101名	
6月	3日6名・4日30名・10日13名		12月	16日 23名	
参加人数	59名		参加人数	23名	
7月	9日 22名		1月	6日 33名	
参加人数	22名		参加人数	33名	
8月	19日 13名・29日 28名		2月	感染症予防のため、活動を行いませんでした	
参加人数	41名		参加人数	一名	
9月	3日 16名		3月	10日 19名・17日 35名	
参加人数	16名		参加人数	54名	

茶 道

活動回数	18回	参加延人数	230名	平均参加人数	13名
活動報告	文化祭では多数の方が参加してくださり「美味しい」と笑顔になっていました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	7日12名・21日11名・28日2名		10月	20日 12名	
参加人数	45名		参加人数	12名	
5月	26日 12名		11月	3日 34名(80個)・17日 12名	
参加人数	12名		参加人数	46名	
6月	2日 12名・16日 13名		12月	1日 12名・15日 12名	
参加人数	25名		参加人数	24名	
7月	14日 12名		1月	5日 12名・19日 12名	
参加人数	12名		参加人数	24名	
8月	18日 12名		2月	2日 12名	
参加人数	12名		参加人数	12名	
9月	15日 12名・29日 12名		3月	講師のご都合で活動はありませんでした	
参加人数	24名		参加人数	実施1回	一名

手 作 り お や つ

活動回数	10回	参加延人数	612名	平均参加人数	61, 2名
活動報告	食品の選択により出来上がりが柔らかく食べ易いように工夫しておやつを作りをしました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	どら焼き		10月	焼き芋	
参加人数	60名		参加人数	66名	
5月	カステラケーキ		11月	白玉入りお汁粉	
参加人数	57名		参加人数	67名	
6月	カラフルカップケーキ		12月	白玉入りお汁粉	
参加人数	56名		参加人数	80名	
7月	オムレット		1月	感染症予防のため活動しませんでした	
参加人数	54名		参加人数	— 名	
8月	みたらし白玉と一口ようかん		2月	感染症予防のため活動しませんでした	
参加人数	54名		参加人数	— 名	
9月	おしるこ		3月	豆腐入りドーナツ	
参加人数	63名		参加人数	55名	

外 出 の 日

活動回数	9回	参加延人数	63名	平均参加人数	6, 3名
活動報告	季節に合わせた外出場所を設定し、四季の移り変わりを感じ、楽しんでいただけました。				
月別活動報告					
	内 容			内 容	
4月	瀬音の湯（足湯）		10月	第2文化祭4名・第3文化祭5名	
参加人数	5名		参加人数	9名	
5月	秋留台公園（バラ園）		11月	瀬音の湯（足湯）	
参加人数	4名		参加人数	5名	
6月	吹上しょうぶ園		12月	不二家レストラン	
参加人数	4名		参加人数	5名	
7月	第3納涼祭		1月	初詣（2日・3日）	
参加人数	3名		参加人数	12名	
8月	不二家レストラン		2月	感染症予防のため活動をしませんでした	
参加人数	5名		参加人数		
9月	ぶどう狩り6名、敬老大会 5名		3月	感染症予防のため活動をしませんでした	
参加人数	11名		参加人数	— 名	

工 作

活動回数	参加延人数	98名	平均参加人数	8名
活動報告	<p>新入所の方にも必ず声を掛け、活動を知っていただき、参加につなげるように働きかけを行いました。</p> <p>手先の運動になるような作品の検討をしながら、楽しい時間の中でリハビリ効果があるように取り組みました。</p>			
	月別活動報告			
	内 容		内 容	
4月	紙粘土で鯉のぼりを作る	10月	色画用紙でかびちゃの形を作る	
参加人数	26日 11名	参加人数	23日・25日・29日 19名	
5月	アジサイの花を作る	11月	消しゴムのスタンプでクリスマスカードを作る	
参加人数	29日 10名	参加人数	27日 11名	
6月	アジサイの花を作る 七夕飾りを作る	12月	未実施	
参加人数	21日・25日 10名	参加人数	—	
7月	8月のカレンダーを作る	1月	雪だるまを作る	
参加人数	31日 6名		29日 12名	
8月	張子風鈴を作る	2月	鬼のお面を作る	
参加人数	27日 3名	参加人数	1日 1名	
9月	模造紙に花畑を作り上げる	3月	ペットボトルと絵の具で桜並木を表現	
参加人数	18日 9名	参加人数	29日 6名	

朗 読

名 称	朗 読	活 動 回 数	5回
参加合計	91名	活 動 場 所	2階ホール等
	<p>4月 紙芝居と春の歌を唄う（20名参加）</p> <p>5月 いろはかるたを行い、春の歌を唄う（34名参加）</p> <p>6月 日本昔話しを聞き、歌を唄う（13名参加）</p> <p>7月 短編小説を聞き、夏に関する歌を唄う（24名参加）</p> <p>*ボランティアの皆様と利用者様とで、歌を唄ったり、軽い体操をしたりと普段と違う時間を過ごし、日常生活の充実が図れました。</p> <p>（8月以降はボランティアさんの都合で中止となりました）</p>		

カラオケ

名 称	カラオケ	活 動 回 数	1週間に2回実施
参加者	各フロアー利用者様	活 動 場 所	各フロアー
<p>平成30年度は各フロアーで週に2回ずつ実施しました。 カラオケ機器の移動が能になったため、住み慣れた場所で行なうことが出来て 参加人数も多くなり、生活の中での楽しみが広がりました。 「やっぱり歌っていいね。」という利用者様からの声も聞かれ、フロアーレクの 活性化にもつながりました。 今後さらに活動を広げ、体操等で体を動かすことも行っていきたいと思います。 (1階 月曜日と木曜日・2階 水曜日と木曜日・3階 火曜日と金曜日)</p>			

園 芸

季節の移り変わりを草花や野菜や果物で感じられるようにと考えて取り組みました。

四季折々の花を利用者様とともに植え、水やりをして丹精込めることにより「きれいだね」と感動して眺めました。

夏には、ゴーヤで緑のカーテンを造り、収穫し、味わうことができました。

なす、ピーマン、イチゴなども収穫し、目と舌で楽しみました。

屋外で、土に触れ、風邪を感じ、参加した利用者様と担当職員とともに会話が弾み自然に触れながらよいコミュニケーションの場になりました。

ラ ジ オ 体 操

担当者が入浴予定のフロアーで、朝にラジオ体操を行ないました。

担当者と利用者様が一緒にラジオ体操を行なうことで、利用者様の健康維持と職員との関係を良好に保つことを目的とし活動しました。

実施月	参加人数	実施月	参加人数
4月	250名	10月	336名
5月	357名	11月	312名
6月	294名	12月	239名
7月	298名	1月	268名
8月	276名	2月	279名
9月	161名	3月	182名

防 災

「突然大きな地震に襲われる」「火災が発生する」「不審者が侵入する」等々予期せぬ事態を想定し、訓練を行いました。

どのような場合でも、事業が継続できる組織であるようにと考え、訓練に取り組みました。

1. 訓練の記録

- 5月18日 (地震発生・負傷者あり応急処置・火災発生・初期消火)
- 5月30日 (地震で落下物あり・通報訓練・避難訓練)
- 7月25日 (平成30年度自衛消防訓練審査会に伴う事前説明会)
- 8月3日～
- 8月11日 (地震発生・火災発生・初期消火等自衛消防訓練審査会にむけて8回の訓練を行った)
- 8月14日～
- 8月26日 (同上の訓練を13回行った)
- 8月27日～
- 9月5日 (同上の訓練を10回行った)
- 9月7日～
- 9月13日 (同上の訓練を6回行った)
- 9月6日・10日 (消防署の指導を受けて訓練を行った)
- 9月14日 (自衛消防訓練審査会出場)
- 10月22日 (炊き出し訓練)
- 12月22日 (地震発生・避難訓練)
- 2月27日 (夜勤帯・地震発生・総合訓練)
- 3月25日 (消火器と屋内消火栓・消火訓練)

2. 防災会議の記録

4月27日・5月25日・6月22日・7月27日・8月24日・9月28日・10月26日・11月23日・12月21日・2月22日・3月15日・

3. 不審者対策

- ・震災、火災に対する訓練を例年同様に行った上で、不審者対策を強化しました。

使 用 物 品 等

事務所で発注して納品された物品は、介助員が所定の場所に片づけて管理をしました。

物品を持ち出したときに行う記録の残数が合わないことが多くあり、課題が残っています。

シーツ等リネン類の発注管理

シーツ交換を一は、業者に委託しています。在庫管理等の数量管理も委託先の業者が行っています。

定期的なシーツ交換以外の交換は介護職員が行い、利用者様の心地よい環境を支援しました。

おむつ等管理

清拭布・紙おむつ類の使用にあたっては、職員はコスト意識を持って使用しています。排泄委員の働きかけにより、それぞれの職員の意識も高まりました。無駄な使い方をしないように注意しています。

年間行事の実施状況

行 事	実 施	内 訳	金 額	小 計
観桜会	30年 4月 1日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	4,756 147,084 84,822 1,050	237,712
運動会	30年 6月 8日 (金) 2階ホール	備品購入	13,068	13,068
納涼祭	30年 7月 8日 (日) 2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	4,920 151,954 119,822 29,848	306,544
地域祭 礼	30年 7月29日 (土) 玄関前	飲み物菓子等	中止	
敬老会	30年 9月16日 (日) 2階ホール	花 公演等御礼	5,000 46,237	51,237
文化祭	30年11月 3日 (祝) 文化の日 玄関ホールと2階ホール	通信費 模擬店食材 公演等御礼 その他	5,248 140,449 102,274 19,106	267,077
クリス マス	30年12月24日 (月) 2階ホール	会場備品準備	49,835	49,835
餅つき	30年12月28日 (金) 2階ホール	もち米. 他	中止	
正月	31年1月 1. 2. 3日 (祝. 水. 木) 各フロアと2階ホール	門松. お飾り 花 公演等御礼 その他	63,122 3,000 10,000 6,474	82,596
節分祭	31年 2月 3日 (日) 各フロアと2階ホール	鬼打ち豆 その他	1,296 5,011	6,307
ひな 祭り	31年 3月 3日 (日) 2階ホール	あられ. 他 花	12,240 3,500	15,740

合計 円 1,030,116

ボランティア受入状況

4月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 ガーゼ切り・行事の手伝い・ゲーム・民謡・等	49名
5月	書道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・ゲーム等	31名
6月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手作りおやつ・ゲーム等	30名
7月	書道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・行事の手伝い等	39名
8月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読等・慰問等	32名
9月	書道・茶道・音楽療法・ガーゼたたみ・地域の子どもたちの歌 朗読・清掃・ゲーム等	38名
10月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手作りおやつ等	28名
11月	書道・茶道・音楽療法・清掃・朗読・慰問・行事の手伝い等	63名
12月	書道・茶道・音楽療法・清掃・草笛・踊り・マジック・腹話術 朗読・手すりドアノブ消毒等	34名
1月	書道・華道・音楽療法・清掃・ゲーム等	17名
2月	書道・華道・茶道・音楽療法・清掃ゲーム等	17名
3月	書道・華道・茶道・音楽療法・清掃・手作りおやつ・ゲーム等	20名

*年間延べ、398名の方々のボランティア活動を受け入れ、利用者様の生活の楽しみにつながりました。

実習生・研修生受入記録

No.	(年 ~)			実習依頼先	実習内容	人数	日数
1	30	6/12	6/12	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	3	1
2	〃	8/ 6	8/10	東京都社会福祉協議会	介護福祉士実習	1	5
3	〃	10/ 8	10/12	東京都社会福祉協議会	社会福祉施設介護体験	1	5
4	〃	12/ 3	12/ 7	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	2	1
5	31	3/11	3/11	ヘルパー学院サンシャインビラ	介護職員初任者研修実習	3	1
6	30	3/ 4	3/31	東京心理音楽療法福祉専門学校	介護福祉士現場実習	1	14
計						11	名

※ インターシップとして秋留台高等学校の生徒を受け入れた。

地域行事参加状況

5月29日	杉の子第3保育園「こどもの日の集い」参加	6名
6月29日	福老連「芸能大会」見学	6名
7月 6日	杉の子第3保育園「七夕会」参加	4名
8月 3日	福生七夕まつり「民謡パレード」参加（職員）	15名
9月 9日	福生市「敬老大会」参加	6名
10月18日	杉の子第3保育園「発表会」見学	4名
1月2・3日	熊川神社「初詣」	12名

設備改善及び備品購入状況

項目	月	日	件名	数量	金額	使用場所	納入業者
備品	7	23	天吊り型エアコン	2	1,053,000	浴室前. 厨房天井	岡野電機
	8	23	床置き型エアコン	1	432,000	訓練室	岡野電機
	10	11	ブラストチラー	1	896,400	厨房	国立厨房
	3	29	パソコン	3	320,436	事務所	マイルストーン
	3	19	シャトルバス (新湯)	1	2,437,614	機械浴室	デーエヌ企画
	3	19	シャトルバス用 シャワーチェア	2	2,017,386	機械浴室	デーエヌ企画
	小計					7,156,836	
設備改善費	10	8	理事長室 タイルカーペット工事	1式	255,960	理事長室	金子設備工業
	8	23	エレベータースイッチ 交換工事	1式	135,000	エレベーター1号機	エスイーシー エレベーター
	1	29	エレベーター リニューアル工事	1式	7,884,000	エレベーター1号機	ジャパンエレベーター サービス ホールディングス
	1	31	ボイラー室 給湯スレンス配管工事	1式	2,475,200	ボイラー室	金子設備工業
	1	31	機械浴室給湯管 新設配管工事	1式	735,650	機械浴室	金子設備工業
	小計					11,485,810	
合計	合計				18,642,646		

短期入所生活介護事業報告

1. 基本方針

福陽会の理念である「その方が、その方らしく生活できる環境づくり」をモットーに、利用者様が健康で笑顔あふれる日常を過ごせるよう目標を定める。

- ・利用者様の心身共に健康な生活を保持する。
- ・利用者様の個性を尊重した生活を配慮する。
- ・生活に希望と生きがいを持てるよう環境の整備と季節感のある行事を行う。

(1) 月別利用者延人数調査

4月	43名	・	5月	31名	・	6月	33名
7月	54名	・	8月	59名	・	9月	41名
10月	64名	・	11月	48名	・	12月	31名
1月	38名	・	2月	28名	・	3月	6名

1年間に、延べ人数で合計476名の方に利用していただきました。

制度の中でのベッド稼働を考え、地域のニーズに最大限応えられるようにと考えて緊急利用の利用者様の受け入れを積極的に行いました。

- #### (2) 協力病院・地域の医療機関等と連携を図り、ご家族様とも協力し合い、健康管理を行いました。

2. 重点目標

「笑顔を絶やさず喜びを引きだそう！」を合言葉に職員一同力を合わせてサービスの質の向上に取り組みました。

- (1) 緊急な受け入れを行いました。
- (2) 重度要介護者の受け入れも行いました。
- (3) 2床の短期入所生活介護のベッドのため、男女の組み合わせ等により短期入所を受けにくい場面もありました。
- (4) 内部研修とOJTを強化しました。
- (5) 各部署のチームワークが強化できました。

生活の場として安全であるよう環境を整え安心して過ごし、安心して居宅へ戻っていただけるよう、支援しました。

2018 年度
事 業 報 告 書

社会福祉法人 福 陽 会

特別養護老人ホーム 第2サンシャインビラ
短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護（ショートステイ）

1. 事業報告 (総括)

統括施設長指示のもと、「その人らしく生活できる環境づくり」の追求を深化する事により、利用者個々の可能性への着目とより細やかな様子観察やコミュニケーションの更なる増加が実践する事が出来た。恒例の日帰りドライブを中心に利用者ニーズを勘案したフロアやユニット活動が更に充実し、食事新メニュー時のポスター掲示や厨房職員による手作りおやつの継続、男性利用者を中心に麻雀クラブの導入等、利用者個々の豊かな表情や笑い声の絶えない日常生活を支援する事が出来た。

地域交流については、地元加美町会との合同防災訓練や行事への招待参加を継続、地元中学生等の職場体験受入れ以外にも近隣小学生の職場訪問や保育園児の慰問受入を継続実施。認知症オレンジカフェの開催や福生市から委託を受けている家族介護者教室への講師派遣の継続等、前年度以上に交流を深める事ができ、地域に開かれた施設運営を更に高める事が出来た。特に認知症オレンジカフェについては次年度以降も継続して欲しいとの声が多数あり、家族介護者への支援としての役割が大きいと感じた。

研修関係についても、施設開設以来変わる事の無い理事長・統括施設長・顧問医師・副理事長の福陽会の理念を職員個々に十分に理解・浸透させる事ができた。内部研修に関しては、研修委員等の熱意や創意工夫により定期研修会と合わせ、フロア毎の内部研修や地域の方にも参加して頂ける「公開研修会」の継続開催等により、充実した内容の研修会を行う事で、研修全体の精度が更に高まった。今年度の公開研修会は「アンガーマネジメント」をテーマに100名を超える参加者があり大変活気のある研修会となった。次年度の継続参加希望者も多く、継続開催の意味や意義を改めて感じ取る事ができる研修会となった。

利用者の健康管理については、平均介護度4.1と重度化が継続している中、顧問医師の指導による日々の健康チェックときめ細やかな日常観察等を介護・看護職員が連動して行い、病気の早期発見・早期治療を実施する事ができ、精度の高い感染症対策や看取り介護の実践が継続できた。特に前年度から面会者に対する感染症対策を再検討及び実施する事により感染症シーズンにおいても蔓延防止に努める事ができた。

一方では、開設から23年が経過し、各設備の消耗や老朽化が更に進んでおり、利用者ベッドの入替えや配管の交換、エアコンや非常灯の入替え等を中心に細かな部分も含め修理・改善に要する費用が大幅に増加となった。修繕等については今後もベッドの入替えや各設備の入替え等、続いていく可能性が非常に高い為、施設全体の経費の見直し・削減を進めていき、効率的な施設運営を目指すと共に、利用者並びに施設職員が明るくそして幸福感や満足感を常に感じてもらえるような施設作りを継続して行きたい。

介護報酬等収入実績：677853397 円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のと通りの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

2. 職 員 構 成 3月31日現在

担当職	職 名	職員	非常勤
統括施設長		1	
施 設 長		1	
顧問医師			1
産業医			1
副施設長			
事 務 長		1	
事 務 員		1	2
生活相談員	主任生活相談員	0	
	生活相談員	4(3)	1
	介護長	0	
介護支援専門員		(3)	
介護職員		42	24
医 務	医 師		3
	看護主任	1	
	看護職員	4	3
	事務		0
機能訓練指導員	機能訓練指導員	2	
	P T		2
厨房	管理栄養士	1	
	調理員	8	2
保守管理・宿直	介助員	1	11

* 兼務職員は主たる職務に記載し、兼務している職務では（ ）内に記載

* 清掃・洗濯・夜勤パートの一部はシルバー人材より派遣

人件費実績

: 478,997,223 円

福利厚生費実績

: 4,987,812 円

3. 会議・懇談会・委員会開催状況報告書

	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	回数 合計
相談員会議	12	10	14	12	9	13	11	8	13	10	14	14	12
栄養会議	12	10	14	12	9	13		8		10	14	14	10
行事計画委員会	12	10	11	9	13	10	8	12	10	14	14	11	12
苦情処理委員会			18				29				25		3
事故対策委員会		24				24					5		3
虐待・拘束廃止委員会	26			23	27			26				25	5
個人情報保護推進委員会	26				27				24				3
実習研修推進委員会	25	21	25	16	20	17	15	19	17	21	18	21	12
厨房会議		9		11		12		14		9		13	6
ケース会議	12	10	11	9	13	10	8	12	10	14	11	11	24
	26	24	18	23	27	24	29	26	24	28	25	25	
リーダー会議	26	24	14	12	9	13	11	8	13	10	14	14	12
広報委員会	27	25	22	27	24	28		30	28	25	22	22	11
施設内レクリエーション委員会	25		18	16	20	17	15	19	17	21	19	18	11
褥瘡予防委員会	26	24	11	9	13	10	8	12	10	14	11	11	12
衛生委員会	27		1・ 22	27	31		26	16	21	25	22	26	11
感染症対策委員会	26	24	18	23	27	24	29	26	24	18・ 24	5・ 25	25	14
全体会議	27		1・ 22	27	31		26	16	21	25	22	29	11
利用者懇談会						21				10			2
給食懇談会	2	7	4	2	6	3	1	5	3	7	4	4	12
3施設情報交換会										31	28	28	3
ボランティア懇談会					2								1
防火管理委員会											14		1

会議費実績：68,918円

4. 市区町村別入退所状況

	入 所		退 所		合 計	
	男	女	男	女	男	女
葛 飾	2	4	4	葛 飾	2	4
国 立	0	0	0	国 立	0	0
江 東	0	0	0	江 東	0	0
杉 並	1	0	1	杉 並	1	0
世田谷	0	2	1	世田谷	0	2
立 川	0	3	1	立 川	0	3
福 生	3	19	1	福 生	3	19
文 京	1	1	0	文 京	1	1
目 黒	0	0	0	目 黒	0	0
その他	1	1	3	その他	1	1
合計	8	30	11	合計	8	30

5. 利用者外出・外泊・面会状況

	外出		外泊		面会		
	人数	延回数	人数	延日数	対利用者	延人数	1日平均
4					155	308	10.3
5	1	1	1	3	155	350	11.3
6	1	1	1	3	155	326	10.9
7			3	7	155	300	9.7
8	2	2	1	7	155	327	10.5
9	2	2			155	389	13.0
10			1	2	191	330	10.6
11			1	2	191	340	11.3
12			1	4	191	466	15.0
1	1	1	1	5	191	360	11.6
2					191	36	1.3
3	2	2			191	475	15.3
合計	9	9	10	33	2076	4007	11.0

6. 処遇報告

1) 2F 事業報告・活動報告

(1) 年間を通じて

前期目標を達成する為、利用者様の生活環境を整え、利用者様の体調を整え、体調の変化に気を配り、年間行事への参加や外出支援、フロア活動としての季節ごとに企画したレクリエーションを行う事が出来た。

後期目標に関しては、利用者様の体調管理に介護職員と医務との連携にて利用者様の体調の変化の早期発見とその後の対応を迅速に行えた。また、嘔吐処理などの感染対応のフロア研修日を設定し、フロア職員参加のもと周知し備えることができた。

感染症対策時期には外出支援ができないため、クリスマス、お正月、節分祭、ひな祭りなどを盛大にフロアレクリエーション充実したものにできた。

(2) 安全対策

夜間帯、センサー19機設置し最大22名の利用者様（1機につき2名から3名の利用者様対象のケースもあり）のベッドから転落、ベッドからの歩きだしからの転倒、トイレ使用時の介助、見守りを行い事故防止に努める。

(3) フロア活動報告

【利用者ショッピング】 4/10 3名 24 4名 5/8 1名 5/22 3名 6/12 4名 6/26 3名
7/10 1名 7/23 3名 8/14 1名 8/28 1名 9/11 3名 9/25 2名 10/9 1名
10/23 1名 3/26 3名

【年間行事】

サンシャインビラ納涼祭 1名 福生市福祉祭り 2名 福生市敬老大会 3名
第3サンシャインビラ文化祭 2名 みかん狩り 11名 福生市桜まつり 1名

【フロア外出支援】

チューリップ畑(羽村)散策 11名 ご家族とともに思い出作り外出支援(昭和記念公園)→台風にて中止
清水牧場(瑞穂) 6名 サンキお買い物ツアー(羽村) 4名

2) 3F 事業報告・活動報告

① 利用者の個別ケアについて

各居室担当が理解し、連絡ノートやミーティング等で発信し、情報の共有を図ることで、フロア全体で実践・検証するといった形が継続して行われた。次年度も継続していく。また利用者様の状態変化への気づきという点では、職員間の共有により、一定期間の観察・記録・評価を行うほか、医務や他部署との連携などにより、適切なケアの提供と一定の成果につなげることが出来た（褥瘡ケア～完治 不眠・頻尿の改善など）。一方で、転倒などの事故については、見守りやセンサーの設置など環境整備に努めているが、軽微なヒヤリハットも含め、別表の通り年間115件発生している。特に認知症の進行により転倒や尻もちなどを繰り返す方については、ミーティングの開催により対応の統一と一定期間の観察・

記録・評価を徹底し、安全な環境整備に努めた。またご家族とも状況の報告を行いリスクの共有・ご理解に努めている。感染症（インフルエンザ流行時期）についてもご家族の協力もあり、2名発生のみで乗り切ることが出来た。次年度以降もマニュアルにのっとった対応を徹底し、予防と発生時の適切な対応に努めていく。

看取り介護の実施にあたっては、利用者ごとにその状態併せたケアを考え、日々の安楽と清潔感のある環境に努めた。またご家族に対しても、家族だけの時間の援助や終末期への不安に対しての精神面の支援などにも配慮した。年度末から次年度にかけて、利用者を見送った後に看取り介護の振り返りを行い、職員一人一人が、自分がしたこと、してあげたかった事などを考え、仲間と共感したり、今後の看取り介護について考える時間を作っていくこととしたほか、若い職員や新人職員の心のケアについても取り組んでいくこととしている。

②フロアレク活動について

季節に合わせた外出支援を行っている。施設周辺での外気浴だけでなく、公園や図書館などの社会資源を活用した「バードカービング展」「お花見」などにも出掛けている。また職員による「社交ダンス披露」や「ギター演奏」のほか、ボランティアの方による「朗読・合唱」「ウクレレ演奏」、クリスマス会の開催など利用者にも一緒に参加していただきながら、楽しい時間を過ごすことが出来た。

③各委員会の取り組み

入浴委員会

- ・利用者が気持ちよくお風呂に入っていたいただけるようなコミュニケーションと全身状態の観察。
- ・排泄物品専用台車の作成や、安全面・衛生面等に配慮した浴室の環境整備。

排泄委員会（感染症委員会）

- ・利用者個別の排泄ケア（自立支援、排泄ケアのタイミング、使用物品等）の検討
- ・利用者の状態変化に合わせた褥瘡予防の検討。
- ・清潔・不潔の徹底や感染予防の指導・研修会の実施。

美化委員会

- ・口腔ケア（歯ブラシ・舌ブラシ等）や整容などの物品管理など利用者の身の回りの環境整備。

レク委員会

- ・季節感のあるフロアの装飾。
- ・フロアレク（前述）の企画実行。

研修委員会

- ・利用者ケアに反映させるため、より質の高い職員の育成につなげる研修の実施。

3) 4F 事業報告・活動報告

*目的

利用者様のその人らしさを尊重し、安心してより良い生活を送って頂ける様に、各職種との連携を図り、自立支援、個別ケアを目指していく。

*実施結果

☆生活の質

居室担当からの発信も多くなり、継続した統一の処遇へとつなげる事が出来た。

居室担当が不在の時でも、決められた適切な援助の遂行や、利用者の「出来る力」を何とか引き出そうと、諦めずに優しくアプローチする職員の姿が多く見られるようになる等、ケース会議の要点や、ケアプランを、フロアの全職員が意識し行った。

☆健康、医療面 環境整備

ただれや剥離、内出血の発見時は報告書の提出、迅速なミーティングを心掛け、改善、再発防止に努め、医務との連携、こまめな体位交換や清潔保持を行ってきたが、褥瘡者を一人出してしまった結果となった。

和室や低床ベッドの活用、足元マットの見直しや、センサーの有効利用により、ベッドからのずり落ちは減少していたが、杖や歩行器、車椅子自操の方が多く、出来る限り自由に生活して頂けるよう配慮した結果、尻もち、転倒、車椅子からのずり落ちは前年度を上回り、同じ方の繰り返しが見られていた。

今後の対応としてのミーティングを迅速に行い、統一した対応と、評価を行ってきたが、転倒、転落により、骨折へ至る重大な事案が2件発生する結果となってしまった。

配薬に関しては引き続き、重大な事故に繋がる危険がある事を各職員が再認識し、声に出して相互で確認するなど職員一丸となって誤薬ゼロに向け取り組むことが出来ている。

また、引き続きインフルエンザ等感染に対しては、マニュアルに添った対応と、各職員が高い意識を持つことにより、一人も発症する事無く防止することが出来た。

☆楽しみ

フロア内に、レクリエーションや、四季折々の写真と装飾を行う事や、エレベーター前の面会スペースに、アルバムを置く事により、利用者様はもちろん、御家族、面会者等にも、施設での普段の姿や生活を見ることが出来、喜ばれている。

また、各種行事参加の他、フロア活動では、天気の良い日には、気分転換に外気浴や、アイスクリーム、かき氷、お好み焼き、ホットケーキ、カラオケ、フロアで栽培したかぼちゃでかぼちゃスープ、花見ドライブや、利用者様からの要望を集め、麻雀、寿司の出前、釜飯紅葉ドライブを実施し、生活の張りとなっている。

個別活動では、ショッピングや、居酒屋等、行きたい場所への目的を果たすことが出来た。

生活の中の楽しみや、希望等、利用者の満足度を高める事により、信頼関係が深まり、より良い雰囲気がつくられていた。

4) 月間定例行事実施状況

行事 月	喫茶室	おやつ バイン ゲ	ラーメン の日 冷し中 華	うどん	希望食 の日	誕生日 会	理髪の 日	移 動 美容室	ひまわ り美容 室
4	17	3	4	18	11	25	6 1	2 4	7
5	1	15	2	17	9	30	6 6	2 0	1 6
6	19	5	6	20	13	27	7 7	2 1	1 6
7	17	3	4	18	11	25	6 4	1 6	1 0
8	21	7	1	15	8	29	6 3	2 0	1 0
9	18	4	5	19	12	26	6 2	1 9	1 7
10	16	2	3	17	24	31	5 6	1 0	1 3
11	20		7	21	14	28	6 6	2 5	1 0
12	18	4	5	19	12	26	5 4	3 1	1 7
1	8	15	23	16	9	30	4 7	1 6	5
2	19	5	6	20	13	27	5 9	2 9	1 3
3	19	5	6	20	13	27	7 3	1 5	8

5) 地域行事参加状況一覧表

年月日	行事名	人数
4月1日	サンシャインビラ観桜会	4
5月7日	日帰りドライブ(狭山智光山動物園)	1 5
7月8日	サンシャインビラ納涼祭	4
9月9日	福生市敬老会	9
10月27日	第3サンシャインビラ文化祭	3
11月13日	みかん狩り(2・3・4階)	1 2
11月27日	みかん狩り(2・4階)	1 3
1月1日	初詣(熊川神社)	1 2
4月1日	サンシャインビラ観桜会	4
5月7日	日帰りドライブ(狭山智光山動物園)	1 5

6) 施設見学者一覧表

年月日	見学者名	人数	時間帯	適応
5月2日	入職希望者	1	15:00~16:00	施設見学、質疑応答
5月8日	西多摩新聞社員	1	10:00~11:00	施設見学、打ち合わせ
6月13日	シルバー人材職員 会員	2	11:00~12:00	施設見学、質疑応答
6月19日	リブドゥ職員	2	13:00~14:00	施設見学、打ち合わせ
6月19日	あきる台病院職員	1	14:00~15:00	〃
7月10日	福生市地域包括職員	2	9:00~10:00	〃
7月19日	福生市高齢福祉課職員	2	10:00~11:00	〃
7月23日	福生市施設公園課職員	2	10:30~11:00	〃
9月13日	慰問予定者	1	13:30~14:00	〃
9月15日	慰問予定者	3	9:30~10:30	〃
9月18日	民生委員	15	11:00~13:00	施設見学、質疑応答
10月12日	ハローワーク職員	1	11:30~12:00	施設見学、打ち合わせ
12月18日	福生4小関係者	1	13:30~14:00	〃
1月28日	マイナビ職員	2	10:30~11:30	〃
2月1日	伊藤園職員	1	11:30~12:00	〃
2月19日	目黒区職員	1	10:30~11:30	定期訪問
2月21日	福生市防災課職員	2	11:00~12:00	施設見学、打ち合わせ

※その他施設入所希望のご家族等 多数見学あり

7) 日用品費・介護用品費・被服費購入等事業費報告

- | | | |
|--------------------|--------------------|---------------------|
| ○給食費 40,490,042円 | ○介護用品費 17,205,472円 | ○医薬品費 3,906,945円 |
| ○保健衛生費 2,368,718円 | ○被服費 6,045,967円 | ○日用品費 1,933,291円 |
| ○水道光熱費 19,410,872円 | ○燃料費 12,001,537円 | ○消耗器具備品費 3,386,096円 |
| ○車両費 624,160円 | | |

7. 厨房事業報告

(1)実施内容「モンブラン」 実施日 H31.02.03（日）

目的

利用者様に喜んでいただけるように、普段あまり使用しない材料を使った手作りおやつを提供し、味の変化を楽しんでいただくことを目標に計画しました。

結果

普通・きざみ食の方、極細・ペースと食の方ともに喜んでいただくことができました。また作って欲しい、との声も多数ありましたがもっとチョコレートソースとホイップクリームの量があったら尚美味しかったとの意見もありました。

◎代替食実施状況

○青魚禁→白身魚で対応

2F 1名 3F 3名 4F 2名

○牛乳・乳製品禁→ジュース、果物等で対応

2F 1名 3F 1名 4F 4名

○うなぎ禁→丼物等中心で対応（牛丼等）

2F 2名 3F 3名 4F 2名

○麺類禁→主食を御飯・粥として副食をプラスし対応

2F 4名 3F 5名 4F 4名

○その他禁

納豆、長芋、里芋、えび、かに、ブロッコリー、あんこ、わさび、オクラ、温泉卵、揚げ物、カレー等→他の食材もしくは調理法で対応

◎行事食等について

月	日		月	日		月	日	
4	4	ラーメンの日	9	5	冷やし中華		31	年越し
	25	誕生会		9	敬老の日	1	1	元旦祝膳
5	2	ラーメンの日		26	誕生会		7	七草粥
	30	誕生会	10	3	ラーメンの日		11	鏡開き
6	6	冷やし中華		21	文化祭		23	ラーメンの日
	27	誕生会		31	誕生会		30	誕生会
7	4	冷やし中華	11	7	ラーメンの日	2	6	ラーメンの日
	14	盆踊り		28	誕生会		27	誕生会
	25	誕生会	12	5	ラーメンの日	3	3	ひな祭り
8	1	冷やし中華		15	クリスマス会		6	ラーメンの日
	29	誕生会		26	誕生会		27	誕生会

うどん、そばの日 月1回

希望食の日 月1回 10月～6月は刺身 7月～9月はうなぎ蒲焼

◎給食懇談会実施状況

月	日	階	人数	議題	内容等
4	2	2F	4	食事について感想、希望等	具体的な嗜好について何うことは難しい方もいたが概ねよく召し上がっている様子
5	7	2F	4	〃	具体的な料理名が出ない方もいたが嗜好について比較的何うことできた
6	4	4F	5	〃	食形態や食事量について現在不都合ある方はいない様子であった
7	2	4F	5	希望食の日について等	二日後に希望食の日であるため今月から9月まで鰻が出ることお知らせした
8	6	4F	5	〃	二日後に希望食の日であるため鰻が出ることを伝え、お好きか伺った
9	4	4F	4	敬老会の祝膳について	敬老会式典の日の昼食は祝膳になる為それについてお知らせした
10	1	3F	5	食事について感想、希望等	嫌いな食材や料理について特に出ず比較的良く召し上がっている方多い様子
11	5	3F	5	〃	甘味がお好きな方が多くおやつシュークリーム喜ばれた
12	3	3F	5	〃	それぞれ好物を挙げていただき嗜好について比較的何うことできた
1	7	3F	4	〃	好き嫌いは少なく、概ね良く召し上がっている方多い様子

※毎月1回第1月曜日 PM2:30～3:00 までの短い時間ではありますが各階の利用者様が参加され、調理の現場からの出席もあり食事の感想や希望を伺い個人個人の嗜好を把握し、ADL や食事形態の変化を直接認識して、それを献立作成や実際の調理に反映させるための貴重な時間となっています。

8. 医務室利用者健康管理報告

1 利用者の安全で快適な生活を維持するための看護・医療面での一次・二次予防の推進

実施内容と方法

- ① 年一回の利用者健康診断を実施（胸部レントゲン・心電図・採血・尿検査）
- ② 新規入所者は入所の際にフルコース検査を実施（胸部レントゲン・頭部CT・採血・尿検査・心電図・必要に応じて胸部CT・心エコー・腹部エコー等）
- ③ 利用者健康診断及び新入所者のフルコース検査結果を速やかに医師に報告し、必要に応じて追加検査・投薬などの指示を仰ぎ健康管理に努めた。
- ④ 週に3回の医務診察を行い、健康維持に向けた管理を実施。
- ⑤ 医師による指示及び看護師の医療的な判断により、定期的にバイタルサイン測定を実施（体温・血圧・脈拍・SPO2など）
- ⑥ 医務診察にて処方された内服・外用薬の管理
- ⑦ 毎月1回定期的に体重測定を実施し、栄養状態の指標として他部署との情報共有に努める。
- ⑧ 健康状態に変化が見られた場合、速やかに医師や御家族へ報告し必要に応じて他医療機関の受診を行う。
- ⑨ 加齢による変化や慢性疾患の進行などによる全身状態の悪化が見られる際は、医師より御家族へ説明をして頂き看取り介護開始の検討を行う。
- ⑩ 看取り介護実施の際は、利用者及び御家族の多様なニーズに対応出来る様多種職間との情報共有に努める。
- ⑪ 夜間オンコール体制の基、利用者の急変時等は介護職員との連携を図り対応を行う。

年間目標1に対して30年度の取り組み①～⑪により、多くの疾病を抱える利用者の安定的な健康管理に繋がった。

今年度は30名の死亡退所者がおり、入院先での死亡者6名、急変等により死亡された方9名、ターミナル対応の末に亡くなった方15名であった。

亡くなられた方の半数以上が入院先と看取り介護（ターミナル）の実施が可能となったのは、異常の早期発見に努め医師との間で速やかに情報共有が出来たからと思われる。看取り介護を実施するにあたり、御家族へ医師より病状や今後の展開についての説明がなされる事で、家族の死に対する心の整理をつける事にも繋がった。

今後も他職種間との連携の強化に努め、利用者ならびに御家族の多様なニーズに対応出来る様努めることと前年比より多くの死亡退所者が出たことの考察も必要である。

感染症時期以外の夏場や季節の変わり目での感冒症状から状態が悪化することがあり、感染症に対して委員会の開催や他施設の見学などを行い、対策を強化した。

2 感染症の発生及び蔓延防止

実施内容と方法

- ① 年2回以上の感染症予防及び発生時の対応方法について施設内とフロアでの職員研修を実施。
- ② 全体朝礼や申し送り等を活用し感染症に関する発生状況等の説明・報告を行い注意喚起に努める。
- ③ 11月頃より3月末頃までは感染症予防の為、職員に出勤時の体温測定・マスクの着用を徹底。
- ④ 職員の手洗いうがい、アルコール消毒施行の徹底。
- ⑤ 11月より3月末までの感染症が発生しやすい時期に合わせてフロア・居室内に加湿器（大型加湿器は各フロア1台）を設置し湿度調整を図る。
- ⑥ 感冒症状の呈した利用者の居室には次亜塩素酸消毒液入りの加湿器を設置。
- ⑦ 利用者の食事摂取前に手指消毒を実施。
- ⑧ 面会者への感染症発生及び蔓延防止に関する注意喚起を行うために、張り紙や面会カードの作成、嗽の実施など感染症を持ち込まないようより徹底した取り組みを行った。
- ⑨ 体調の変化がある利用者には注意深い観察を行い、早期に医師へ報告し対応を検討する。
- ⑩ 職員及び利用者に対しインフルエンザの予防接種を実施。
- ⑪ 各部署連携し月に一度の感染症委員会を実施。
- ⑫ 面会制限表を作成し、東京都感染症情報などを基に臨時感染症委員会を設置し面会制限を決定する。

今年度、感染症の発生予防に努めたことによりインフルエンザ2名・ノロウイルス0名であった。突発的な下痢や嘔吐、発熱などが見られる利用者に対しては一貫した対応を行うと同時に、速やかに医師へ報告し適切な治療を早期に実施することができた。

次年度も感染症における対応方法についての研修会を多く開催し、感染症の予防及び蔓延防止の為の知識・技術の向上を図る。

3 褥瘡を含む皮膚トラブルの予防

実施と内容

- ① 入所時より定期的に利用者の ADL・栄養状態などを分析、評価し褥瘡形成リスクをアセスメントする。
- ② 褥瘡形成リスクが高い場合は、個別予防計画を立案し実施する。
- ③ オムツ着用に伴う皮膚の糜爛が見られる方へは、介護職員との連携を図りオムツ交換回数・時間・方法を検討する。
- ④ 保湿クリームや安定的な食事・水分摂取に努め、皮膚のバリア機能を維持する。
- ⑤ 介護職員が褥瘡予防に対して一貫した対応が図れる様、マニュアルを作成し指導にあたる。
- ⑥ 褥瘡形成が確認された場合、毎月開催される褥瘡予防委員会にて発生理由・箇所・今後の対応方法などについて報告・相談する。
- ⑦ 褥瘡予防や対応方法について外部講師を交えての研修会を実施し知識と技術の向上に努める。

実施内容①から⑦の結果年間褥瘡保有率は 0.65%、褥瘡新規発症者 3 名（入所時持ち込み含む）、発症率は 1.95%となった。

次年度以降も褥瘡発症率 0%を目標に施設内において、一貫した予防策を展開していくことが必要。

○平成 31 年 3 月 31 日現在の医療処置対応者

- 胃瘻による経管栄養施行者 6 名
- 在宅酸素使用者 0 名
- 褥瘡処置者 1 名
- 血糖測定者 0 名
- 経口摂取困難による点滴施行者 3 名（ターミナル者 6 名）

9. リハビリテーション報告

(1)総括

平成 30 年度リハビリテーションにおいて、利用者の身体・精神面の特性・変化を把握し、看護・介護・リハビリテーションの各セクションが一体となり、個々に合った安全で無理のない訓練を施行する事に重点を置いた。慢性疾患や障害を持つ利用者に対しても運動機能を正しく評価し、その体力や残存能力から生活の場で発揮できる能力を予測し、日常生活への適応にも努めた。

また、スタッフの主観や経験から判断することなく、利用者が訴えている言葉・動作・行為の一つひとつを注意深く観察し、精神的高揚につながるようアプローチも合わせて行った。

(2)実施事項

- ① 理学療法士による評価・プログラム作成
- ② 関節可動域訓練・マッサージ
- ③ 温熱療法
- ④ 筋力増強、起居・移乗・移動動作訓練
- ⑤ 廃用性の機能低下防止

(3) 結果

- ・関節可動域の維持拡大、姿勢調整 34 名
- ・起居・移乗・移動動作能力の維持向上 29 名
- ・疼痛の軽減 6 名

以上の結果が得られた。今年度においても利用者の身体状況重度化に伴い関節可動域制限の維持・拡大を主とした利用者の増加によりベットサイドでの訓練が多くを占めた。体調不良により訓練中止となった利用者においても、他部署との連携により早期再開を進め廃用性の機能低下防止にも努めた。

長期間の入院により寝返り・起き上がり・座位保持などすべての動作に介助が必要であった利用者において、週に 3 回程の訓練の中で四肢・体幹の関節可動域訓練から筋力強化訓練、また、起立・立位バランス訓練の結果、自己にての起立動作、足踏み等の立位動作が可能となり、軽介助での移乗・トイレ動作が可能となるなど生活の質の向上に繋がった利用者。アルツハイマー型認知症進行により四肢の関節可動域制限、筋緊張の高い症状のある利用者に関しては、入浴・排泄・更衣介助の中で非常に難しいレベルにあり、車椅子座位も姿勢不良が目立っていたが、継続した関節可動域訓練、姿勢調整を施行した結果、スムーズな介助が可能となった利用者も多く、同様のケースも 9 件ほどみられるなど様々な結果が得られた。

体調不良による長期臥床により発語不明瞭、嚥下機能低下の症状が出現した利用者においても、胸郭の拡大、発声練習、舌運動を行った結果嚥下機能の向上の他、懐メロを一緒に口ずさむなど精神面の賦活に繋がった利用者もあった。

その他、利用者個々の身体状況に合った車椅子・リハビリテーション機器の選定 及び整備とともに、個々に合った生活リハビリ、日常生活に適応した動作訓練を取り入れるなど、残存能力の活用とともに潜

在的能力の開発にも努めた。

(4) 反省点

- ① 利用者個々に合ったポジショニング・体位変換などにおいて、介護職への連絡が不十分な面から、フロア全体に浸透しないケースに対し、各フロア 〃 の相談員、リーダー、居室担当等への連絡を周知徹底し再発防止に努める。
- ② 車椅子座位の姿勢不良により、仙骨部剥離、関節可動域制限進行に繋がる問題において、各フロアへ事例とともに説明を行うが同様のケースが再発するため、各フロアを含めケアカンファレンス、施設内研修会、褥瘡予防会議等にも周知徹底し再発防止に努める。

1) リハビリ実施報告表

月	R.O.Mマッサージ			温熱療法		
	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施人数
4	25	31	370	25	2	16
5	27	29	440	27	2	16
6	26	27	376	26	2	12
7	26	27	373	26	2	18
8	27	29	436	27	2	8
9	25	28	376	25	1	8
10	27	29	407	27	1	7
11	26	27	373	26	1	6
12	26	28	342	26	1	7
1	24	28	293	24	1	0
2	24	28	321	24	1	1
3	26	27	311	26	1	7
計	309	338	4418	309	17	106

月	起立バランス歩行			理学療法士による評価		
	実施日数	対象者数	実施人数	実施日数	対象者数	実施評価人数
4	25	25	226	3	35	19
5	27	23	287	3	33	19
6	26	21	257	3	32	17
7	26	22	248	3	32	21
8	27	23	275	3	34	18
9	25	23	256	3	33	19
10	27	24	282	3	34	15
11	26	22	242	3	32	17
12	26	23	240	3	33	22
1	24	23	186	3	33	14
2	24	24	225	3	33	19
3	26	23	239	3	32	19
計	309	276	2963	36	396	219

10. 生活相談員・介護支援専門員 事業報告

【生活相談員・介護支援専門員 事業計画】

法人の基本理念である「人がその人らしく生活できる環境づくり」を柱とし、ご本人・ご家族を中心に、関係各部署との連携により、利用者一人一人が健康で生きがいを持って過ごしていただけるように支援しました。

I. 利用者の生活支援

- ・ 新規入所に当たっては、入所前の情報収集・事前面接・入所判定等により、利用者の状態像の把握に努めました。事前面接を行うことで、書類上では見えない部分の確認、情報収集を行うことが出来るほか、入所に当たって、ご本人が事前調査のことを覚えてくださっていて、担当した職員と顔を合わすことで安心した表情に変わるなど、スムーズな受け入れにつながることが出来たように思います。また平成 30 年度は、御家族だけでなくご本人が事前に施設見学にいらっしゃることも複数件あり、当施設を気に入ったうえで入所となった方もいらっしゃいます。次年度も事前面接・事前施設見学等を有効に活用していきたいと考えます。
- ・ 利用者一人一人に適した施設サービス計画書（ケアプラン）の作成と、ケアの提供、モニタリングを繰り返し、各部署からの専門的な意見を重ね、より充実した生活を送っていただけるよう努めています。入退院など状態の変化に際しても、各職種からの情報収集や、必要に応じて区分変更申請を行うなど利用者の状態にあったサービスの提供を心掛けました。次年度も同様に継続していきます。
- ・ ご家族ともコミュニケーションにより情報共有を図ることで、利用者の支援を一緒に行いました。特に状態変化時や、看取り介護の際などは、利用者ケアだけでなく、御家族の不安や悲しみなどにも配慮できるよう努めました。多くのご家族様から感謝やねぎらいのお言葉を頂戴しています。

II. ベッド稼働率

- ・ 各部署との連携により、入所利用者の体調管理・状態の安定に努め、ベッド稼働率の安定に努めてきました。定例の会議以外でも関係各部署との連携・相談を密に行い、情報の共有に努めました。次年度以降も、関係各部署との連携をなお一層深め、入所者に対し、質の高い介護サービスを提供していきたいよう努めます。

11. クラブ活動実績報告

① クラブ活動について

施設生活は個人の個性や趣味、嗜好が思うように保てないのが現状であるため、出来る限り個々の希望を満足させる事が出来るよう心がけた。

クラブ活動を通じ、集団生活化しがちな施設生活に利用者1人1人の趣味、嗜好をこらし、様々な要求に出来る限り対応し、満足な生活空間の提供が出来るよう工夫した。自己の創作意欲と、クラブ員同志のコミュニケーションの中で、生活感のある自由な時間を作るよう工夫した。

一年毎に、利用者のADLの低下が感じられ、クラブ活動への参加意欲が衰退している。しかしながら、参加されている利用者については毎回楽しみにされている様子で、生き生きと活動を進め、QOLの向上につながっている。

今後もそれぞれの利用者の生活感や生きがいを見つけ出して行く為にも、クラブ活動の継続は必要であると考えます。

② 講師及び担当職員一覧表

クラブ名	講師及びボランティア名		
茶 道	井上先生	書 道	石井先生
華 道	佐野先生	陶 芸	川口先生
水彩画	職員 室賀		
手 芸	小川先生 野口		

茶道クラブ活動報告

活動回数	20回	参加延人数	107名	平均参加人員	5名	担当：井村洋子
------	-----	-------	------	--------	----	---------

【活動報告】

- 1) 第1・第3月曜日で活動
- 2) 先生の御指導のもと、参加者がお手前をしたり、お茶を味わえた。
- 3) お茶と和菓子で心穏やかに利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。

【月別活動報告】

月	内 容	月	内 容
4月	先生の御指導のもと、お手前をする	10月	文化祭、お客様にお手前を楽しんで頂く
5月	〃	11月	先生の御指導のもと、お手前をする
6月	〃	12月	〃
7月	〃	1月	〃
8月	〃	2月	〃
9月	〃	3月	〃

手芸クラブ活動報告

活動回数	23回	参加延人数	166名	平均参加人員	7-8名	担当：奥平幸子
------	-----	-------	------	--------	------	---------

【活動報告】

1. 他の利用者様と先生方、ボランティアさんと親睦を深めにぎやかに、楽しく活動ができました。
2. 残存機能を使い意欲的に取り組み、作品を作り上げる達成感を感じていただきました。
3. ご自分でできることの楽しみを感じ、それぞれの希望にそうようにし、気分転換が図れるよう取り組みました。

書道クラブ活動報告						
活動回数	25回	参加延人数	--	平均参加人員	10名	担当：田中佳代
【活動報告】						
1. 先生のご指導のもと熱心に取り組み、充実感のある時間を持っていただくことが出来た。						
2. 文化祭では各自、真心を込めて書き上げた作品を見ていただき、今後の活動の励みとなった。						
3. 合評会では、先生からのお言葉を頂き、クラブ員同士励ましあいも見られ、とても良い交流を図ることが出来た。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	お手本を基に練習、清書			10月	文化祭の作品練習、清書	
5月	お手本を基に練習、清書			11月	お手本を基に練習、清書	
6月	お手本を基に練習、清書			12月	お手本を基に練習、清書	
7月	お手本を基に練習、清書			1月	お手本を基に練習、清書	
8月	文化祭の作品練習			2月	お手本を基に練習、清書	
9月	文化祭の作品練習			3月	お手本を基に練習、清書	

華道クラブ活動報告						
活動回数	24回	参加延人数	266名	平均参加人員	11名	担当：大柄さとみ
【活動報告】						
1) 第2・4木曜日に活動						
2) 利用者のレベルに合わせて先生にご指導していただいた						
3) 生け花を通して利用者間、先生とのコミュニケーションを図れた。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	季節の花を生ける			10月	文化祭の出展作品	
5月	季節の花を生ける			11月	季節の花を生ける	
6月	季節の花を生ける			12月	クリスマスの作品	
7月	季節の花を生ける			1月	正月の作品	
8月	季節の花を生ける			2月	季節の花を生ける	
9月	季節の花を生ける			3月	季節の花を生ける	

水彩画クラブ活動報告						
活動回数	6回	参加延人数	39名	平均参加人員	7名	担当：室賀 こそえ
【活動報告】						
1) 季節を感じるため、外出をした。						
2) 文化祭展示を目標にして、絵に興味のある人たちを誘って描いた						
3) 和気あいあいと活動をしながら取り組み、コミュニケーションをとった。						
【月別活動報告】						
月	内 容			月	内 容	
4月	ダリア、バラ、ネフイ、シャクヤク 下絵を描き、色付けをする。			10月	文化祭展示	
5月	シャクヤク、カーネーション、ダリア、バラ 下絵を描き、色付けをする			11月		
6月				12月		
7月	ヒマワリ、バラ、カーネーション 下絵を描き、色付けをする			1月		
8月	ヒギク、カーネーション 下絵を描き、色付けをする			2月		
9月	りんどう、ヒガンバナ、ダリア、コスモス 下絵を描き、色付けをする			3月	羽村市郷土博物館へ 季節を味わう	

陶芸クラブ活動報告						
活動回数	72回	参加延人数	410名	平均参加人員	4-7名	講師：川口 由美子
【活動報告】						
日常使う食器（茶碗、角皿、マグカップ、中鉢、梅皿）のほかに、インテリア品（ランプ、一輪挿し、植木鉢、干支のイノシシ）なども作りました。						
利用者の皆様には大変好評で十分に満足感を味わっていただけたと思います。出来上がった作品を褒めてもらうことにより生き生きと活動を進めていくことができました。またご家族や友人からの注文もあり、ますます作ることの楽しさと意欲がわいてくるようでした。						

クラブ活動費実績：2,942,920円

12. 年間行事実施報告

月日	行事名	内容
4月8日	観桜会	利用者、ご家族のカラオケ。 ベリーダンス、江戸芸かっぽれの慰問を楽しまれた。
7月14日	納涼盆踊り大会	利用者、ご家族、職員等によるカラオケ。 花火大会、神谷奈穂歌謡ショー等にて盆踊りを楽しむ。
5月27日	日帰りドライブ	昼食は和食レストラン、狭山市智光山動物公園にて 動物とのふれあいを楽しむ。
9月9日	敬老会	式典、祝膳 午後福生市敬老会参加及び5階ホールにてフラダンス慰問を楽しむ。
10月20・ 21日	文化祭	利用者クラブ活動作品展示、5階ホールにてカラオケ、 キッズダンス及びバンド演奏を楽しむ。喫茶コーナーにて認知症カフェを開催。
11月6日	焼き芋大会	5階ホールにてカラオケを楽しみながら焼き芋を食す。
12月15日	クリスマス会	昼食行事食。午後5階にてあきしまウインドウオーケストラの 演奏慰問を楽しむ
1月1日	元旦祝膳	5階ホールにて式典、理事長、統括施設長、副理事長より新年の挨拶。 その後祝膳を楽しむ。午後は熊川神社へ初詣。
2月1日	節分祭	各フロアにて豆まきを実施。
3月3日	ひな祭り	昼食各フロアにて祝膳を楽しむ。余興はフロア毎に実施。

行事等実績：2,887,620円

13. 事務費・固定資産物品報告

事務費報告

- 事務消耗品費 5,177,678円 ○印刷製本費 946,039円 ○修繕費 55,937,541円
- 通信運搬費 1,750,585円 ○広報費 50,000円 ○業務委託費 15,882,803円
- 手数料 4,998,784円 ○保険料 1,179,890円 ○賃借料 12,023,784円
- 土地・建物賃借料 471,588円 ○租税公課 198,690円 ○保守料 5,609,692円
- 渉外費 504,940円 ○諸会費 298,840円 ○雑費 2,251,493円

固定資産

- 電動ベッド入替 14,515,200円 各フロア流し台入替 1,273,234円
- パソコン2台新設 351,000円 空調機入替 6,000,000円
- LEDリース物件買取 376,142円

14. 事故報告. ヒヤリ・ハット報告

2階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折						1							1
転倒		4	2		4	4	4	1	3	3		3	28
転落(ベッド)		1		1			1						3
転落(車椅子・椅子)			1		2								3
ずり落ち(移乗失敗)									1				1
剥離・裂傷		3	2	2	1	2							10
内出血	7	2	1	4	1	5	5				2	1	28
誤嚥													
異食(誤食)										1		1	2
尻もち	2		1	2	1		1	2	4	3	2	2	20
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)													
服薬ミス	1		1	1		1	1	1	1		3		10
その他	1	2	2		1	2	1	1	1	3	1		15
合計	11	12	10	10	10	15	13	5	10	10	8	7	121

3階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折												1	1
転倒	2	1	1	2	1	1	2	2	6		1	2	21
転落(ベッド)		1	2	1			2		1	2	4		13
転落(車椅子・椅子)			1						1				2
ずり落ち(移乗失敗)	2	3	3		1	2	2		2	1			16
剥離・裂傷		1		1		1						1	4
内出血	1	2		1									4
誤嚥													
異食(誤食)				1					1	5	1		8
尻もち		2	1	2	3		3	2	1	2	1		17
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)										2		1	3
服薬ミス		1	2		1		2	1	1				8
その他	1	5		1	1		2		1	2	4	2	19
合計	6	16	10	9	7	4	13	5	14	14	11	7	116

4階	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
骨折								1	1				2
転倒	1			1	1				2	1			6
転落(ベッド)						1		1		1			3
転落(車椅子・椅子)												1	1
ずり落ち(移乗失敗)	4	2	1	1		1		1	1		4		15
剥離・裂傷	1	3	1	1	3	2	1			1			13
内出血	2	4	4	4	2		2		1				19
誤嚥													
異食(誤食)									1		1	1	3
尻もち					1	2				1		3	7
徘徊(施設外発見)													
徘徊(施設内発見)	1		2		2	1	1				1		8
服薬ミス		1						1	1				3
その他	1	5	2	3	1			1	2			1	16
合計	10	15	10	10	10	7	4	5	9	4	6	6	96

15. 職員研修報告

【外部研修】

月	日	研修・出張内容	場所	主催者	参加者
4	19	利用者支援検討委員会	飯田橋セントラルプラザ	東京都社会福祉協議会	佐々木和仁
	19	介護認定審査会委員 新規研修	社会保健医療研修センター	東京都福祉保健局	中川祥子
	22	かいごの学舎	日本社会事業大学	かいごの学舎実行委員会	中野利男
	26	福生地区特定給食研究会役員会	特別養護老人ホーム 神明園	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
5	16	福生地区特定給食研究会総会	羽村市生涯学習センター ゆとろぎ	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	18	安全運転管理者定期総会及び講習会	福生市民会館	福生安全管理者部会	古谷康司
	21	安全運転管理者定期総会及び講習会	オリンパスホール	福生安全管理者部会	古谷康司
	25	福生市介護保険事業者連絡協議会総会	福生市民会館	福生市介護保険事業者連絡協議会	新橋和枝 鈴木俊哉 中川祥子 大谷真澄 齋藤澄子
	29	福生地区特定給食研究会役員会	特別養護老人ホーム みずほ園	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
6	11	ごあいさつ	いなぎ正吉園		佐々木和仁 下田政勝
6	14	動作介助（HNA）研修会	羽村三慶病院	羽村三慶病院リハビリテーション科	椎名邦夫 栗原和久 細谷 誠
	23	介護予防講演会	もくせい会館	福生市福祉保険部	中川祥子 鈴木敦子 勝田幸恵
	29	秋川ブロック会	ひのでホーム		佐々木和仁
	29	認知症に関する研修会	トヨタドライビングスクール東京校	東京都社会福祉協議会	前田睦美
	30	介護支援専門員研修課程Ⅱ	トヨタ立川	東京都介護支援専門員研究協議会	齋藤澄子
7	4	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	久保 満
	4	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	島田正晃
	5	認知症介護研修公開講座	ベルサール神保町アネックス	東京都福祉人材センター	渡邊尚子 田中佳代
	6	認知症介護研修公開講座	ベルサール神保町アネックス	東京都福祉人材センター	渡邊尚子 田中佳代
	13	生活リハビリ講座	林野会館	(有)七七舎	大高弘史
	19	地域医療連携担当者合同会議（研究会）	福生病院	福生病院	齋藤澄子 中川祥子 大谷真澄
	24	日常業務に役立つ業務用食品展示会	大聖病院 講堂	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
	30	介護支援専門員研修課程Ⅱ	トヨタ立川	東京都介護支援専門員研究協議会	齋藤澄子
8	3	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	久保 満

	3	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	島田正晃
	9	介護支援専門員研修課程Ⅱ	トヨタ立川	東京都介護支援専門員研究協議会	齋藤澄子
	17	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	久保 満
	17	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	島田正晃
	20	介護支援専門員研修課程Ⅱ	トヨタ立川	東京都介護支援専門員研究協議会	齋藤澄子
	21	介護支援専門員実務研修における実習受入事業所説明会	A P市ヶ谷	東京都福祉保健財団	中川祥子
	23	福祉機器展	青梅市福祉センター	(有)アイケアーサーサービス青梅	大谷真澄 齋藤澄子 山下晶子
	23	認知症介護基礎研修	飯田橋レインボービル	東京都福祉保健局	井村洋子
	23	利用者支援検討委員会	飯田橋セントラルプラザ	東京都社会福祉協議会	佐々木和仁
	23	主任介護支援専門員研修	オリンピック記念青少年総合センター	東京都介護支援専門員研究協議会	新橋和枝
	27	介護支援専門員研修課程Ⅱ	トヨタ立川	東京都介護支援専門員研究協議会	齋藤澄子
	28	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	久保 満
	28	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	島田正晃
	30	福生地区特定給食研究会役員会	ガスト瑞穂長岡店	西多摩保健所福生地区特定給食研究会	水口恵子
9	6	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	久保 満
	6	介護支援専門員研修課程Ⅱ	ワイムお茶の水	東京都介護支援専門員研究協議会	島田正晃
	13	介護支援専門員研修会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	羽村市福祉健康部	新橋和枝 鈴木俊哉 齋藤澄子 大谷真澄
	13	自立支援の考え方	もくせい会館	福生市地域包括支援センター	中川祥子 山下晶子
	13	通所介護事業所研修会	福生市民会館	福生市介護保険事業者連絡協議会	荒井昭仁
	21	特定居宅介護支援事業所共同研修会	羽村市コミュニティーセンター	居宅：アシスト・オリーブ・武蔵野・南田園	中川祥子
	28	アクティブ福祉 i n 東京	京王プラザホテル		井梅直紀 寺崎千里 村上将貴
10	4	栄養管理講習会	羽村市生涯学習センターゆとろぎ	西多摩保健所	水口恵子
	8	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	12	生活リハビリ講座	林野会館	(有)七七舎	井村洋子
	14	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	16	感染症対策指導者養成研修	東京都庁第一庁舎	東京都福祉保健局	添野あずみ
	16	自立支援の考え方	もくせい会館	福生市地域包括支援センター	中川祥子 山下晶子 大谷真澄 鈴木俊哉 齋藤澄子 鈴木敦子

	18	福生地区特定給食研究会 役員会	神明園	西多摩保健所福生地区特定給食 研究会	水口恵子
	23	主任介護支援専門員連絡会	福生福祉センター	福生市地域包括支援センター福 生	中川祥子
	23	労働災害防止労務管理講習 会	羽村市生涯学習センターゆとろ ぎ	青梅労働基準監督署	佐々木和仁
	28	主任介護支援専門員研修	オリンピック記念青少年総合セ ンター	東京都福祉保健局	新橋和枝
	30	AIによる高齢者の自立促 進・重度化防止	福生市民会館	福生市介護保険事業者連絡協議 会	新橋和枝 齋藤澄子 山下晶子 大谷真澄 中川祥子
11	4	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	7	定款変更手続き	都庁		清水健一郎
	13	福生地区特定給食研究会 分科会	良友園	西多摩保健所福生地区特定給食 研究会	水口恵子
	14	安全運転管理者講習	福生市民会館	福生安全運転管理者部会	古谷康司
	16	認知症のケアプランに本当 に必要なものは何か？を探 ろう！	福生市民会館	特定居宅介護支援事業所	新橋和枝 大谷真澄 中川祥子 齋藤澄子
	17	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	18	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
	24	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	25	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	27	栄養展	福生市プチギャラリー	西多摩保健所福生地区特定給食 研究会	水口恵子
	30	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
12	1	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	10	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
	19	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
1	9	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
	12	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	15	福生地区特定給食研究会 講演会	羽村市コミュニティセンター	西多摩保健所福生地区特定給食 研究会	水口恵子
	26	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	28	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
2	6	介護支援専門員研修課程 I	コンベンションホール飛鳥 AB 前	総合健康推進財団	大谷真澄
	16	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝
	20	暮らしの場における看取り 支援事業実践研修	TKP 新宿カンファレンスセンター	東京都福祉保健局	井梅直紀 福島由美 橋口里子
	20	指定更新 事業者研修会	文京シビック	東京都福祉保健財団	佐々木和仁
	24	主任介護支援専門員研修	ワイムお茶の水	東京都福祉保健局	新橋和枝

3	1	ケアマネジャー、サービス事業所の訴訟リスクについて考える	もくせい会館	福生市地域包括支援センター	鈴木敦子 勝田幸恵
	7	暮らしの場における看取り支援事業実践研修	TKP 新宿カンファレンスセンター	東京都福祉保健局	井梅直紀 福島由美 橋口里子
	19	進路懇談会	都立福生高校	都立福生高校	鈴木湧也 本田大輝
	19	退院後、介護サービス利用の為のカンファレンス	国立精神神経医療研修センター病院		中川祥子

【内部研修】

回	月 日	内 容	人数	講師	主 催
1	4月25日	口腔ケアと誤嚥 (事故防止Ⅰ)		アイデンタル (外部)	実習研修推進委員会
2	4月27日	「はしか」「季節の変わり目 (自律神経)」	21	青山医師	衛生委員会
3	5月21日	スタンダードプリコーション (感染)	16	医務	実習研修推進委員会
5	6月1日	食中毒予防の原則	22	青山医師	衛生委員会
6	6月22日	「咽頭結膜熱」「スタミナ、疲労回復を促す食事」	23	青山医師	衛生委員会
7	6月25日	アンガーマネジメント (公開研修会)	128	リブドゥ (外部)	実習研修推進委員会
8	7月16日	「褥瘡に関する知識とケア」「排泄ケアの見直し」	17	医務	排泄委員、研修委員
9	7月27日	「7月に注意してほしい感染症」「季節の予防」	17	青山医師	衛生委員会
10	8月20日	身体拘束の理解	21	3F 生活相談員	実習研修推進委員会
11	8月31日	「殺菌性食中毒」「スマホ、電子メディアの健康影響」	21	青山医師	衛生委員会
12	9月17日	車いす移動 (事故防止Ⅱ/体験型)	16	3F 研修委員	実習研修推進委員会
13	9月30日	0157、麻疹、インフルエンザ	20	青山医師	衛生委員会
14	10月15日	嘔吐物の処理	12	医務	実習研修推進委員会
15	10月26日	「秋の花粉」「メンタルヘルス」	18	青山医師	衛生委員会
16	11月1日	嘔吐物の処理 (4Fフロア)	6	4F 担当職員	実習研修推進委員会
17	11月15日	嘔吐物の処理 (3Fフロア)	7	3F 担当職員	実習研修推進委員会
18	11月16日	「溶連菌」「チーム内のコミュニケーション」	18	青山医師	衛生委員会
19	11月19日	倫理、モラル ～現場のあるある～	19	2F 担当職員	実習研修推進委員会
20	12月16日	インフルエンザ、ノロウイルス	20	青山医師	衛生委員会
21	12月17日	ターミナル ～終末期を考えよう～	17	3F 生活相談員	実習研修推進委員会
22	1月21日	働く人の腰痛予防	10	リハビリ 奈良野主任	実習研修推進委員会
23	1月25日	「H30年度のインフルエンザ対応」「睡眠」	20	青山医師	衛生委員会
24	2月22日	冬に流行する感染症	23	青山医師	衛生委員会
25	2月18日	個人情報保護	10	下田相談員	実習研修推進委員会
26	3月21日	大規模災害に備えて ～非常食を知る～	22	福生消防署、福生市	防災管理委員会
27	3月21日	応急救護		福生消防署	実習研修推進委員会
28	3月29日	若者も注意したい腎臓機能の低下 / 風疹	19	青山医師	衛生委員会

今期も、グループワーク、参加型の研修を実施し、「感じる」「考える」「話し合う」機会から振り返りを深め、施設の理念に沿った心を養う良い研修ができたと考えられ、参加者に配布したアンケートでも年間を通して高評価を得られている。

公開研修会に於いては、世間を騒がす「介護者のストレスによる虐待」を踏まえた研修を一般向けにアレンジしたことで、多様な参加者から大好評を得ており、リクエストの声も多く寄せられている。

感染症について学んだ研修 (衛生委員会含む) も、インフルエンザ流行時の感染蔓延を防ぐ結果にも繋がったと考えられる。その他、利用者ケアのみならず、働く側を考えた「腰痛予防」の研修については、他部署からの興味も強く楽しく実践することが出来た。

年度末には消防署、市役所の協力を得て、防災管理委員会と共に地域の方々に貢献できる研修会を開くことが出来た。

旅費・研修費実績：159,182円

16. ボランティア受入の状況

月	日	曜日	行事名	人数	業務内容	依頼先	
4	3	火	おやつバイキング	4	喫茶準備	そよ風、シルバーサポーター	
	5	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
	5	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター	
	8	日	観桜会	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等	
	8	日	3F フロアボランティア	1	介護補助	一般	
	8	日	4F フロアボランティア	1	介護補助	一般	
	10	火	利用者ショッピング	4	東急付き添い	シルバーサポーター	
	12	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
	12	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
	17	火	喫茶の日	4	喫茶準備	そよ風、シルバーサポーター	
	17	火	理髪の日	6	利用者の理髪	有償ボランティア	
	19	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター	
	19	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
	24	火	利用者ショッピング	4	イオン付き添い	シルバーサポーター	
	26	木	園児来園	25	利用者交流	加美平保育園	
	26	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
	26	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
	28	土	厨房ボランティア	1	調理補助	一般	
	5	1	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
		3	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター
3		木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター	
8		火	利用者ショッピング	3	東急付添い	シルバーサポーター	
10		木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
10		木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
13		日	ドックセラピー	11	ドックセラピー	一般	
15		火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター	
15		火	理髪の日	5	利用者の理髪	有償ボランティア	
17		木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター	
17		木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
20		日	草笛ボランティア	1	草笛、芸他	シルバーサポーター	
22		火	利用者ショッピング	1	イオン付き添い	シルバーサポーター	
24		木	園児来園	4	利用者交流	加美平保育園	
24		木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター	
24		木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
6		5	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
		7	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	7	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター	
	12	火	利用者ショッピング	4	東急付添い	シルバーサポーター	
	14	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター	
	14	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
	19	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター	
	19	火	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア	
	21	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園	
	21	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター	
	21	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター	
	26	火	利用者ショッピング	4	イオン付き添い	シルバーサポーター	

	28	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	28	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	28	木	将棋	1	利用者の将棋相手	社協ボランティアセンター
7	3	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	5	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	5	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	10	火	利用者ショッピング	4	東急付添い	シルバーサポーター
	12	木	3Fフロアボランティア	1	介護補助	一般
	12	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	12	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	14	土	納涼祭	15	会場準備、片付け	福生社協、関係業者、福生高校等
	15	日	草笛ボランティア	1	草笛、芸他	シルバーサポーター
	17	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	17	火	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア
	19	木	2Fフロアボランティア	1	介護補助	一般
	19	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	19	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	21	土	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	23	月	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	24	火	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	24	火	利用者ショッピング	4	イオン付き添い	シルバーサポーター
	25	水	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	25	水	2Fフロアボランティア	1	介護補助	一般
	26	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	26	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	26	木	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	27	金	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	27	金	社協夏ボランティア	1	介護補助	社協ボランティアセンター
	28	土	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	28	土	社協夏ボランティア	1	介護補助	社協ボランティアセンター
	30	月	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	30	月	社協夏ボランティア	1	介護補助	社協ボランティアセンター
	31	火	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	31	火	社協夏ボランティア	1	介護補助	社協ボランティアセンター
8	1	水	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	2	木	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	2	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	2	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	3	金	福生七夕まつり	2	着付け	社協
	3	金	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター

4	土	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
6	月	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
7	火	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
7	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター	
8	水	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
9	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
9	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター	
9	木	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
10	金	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
13	月	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
14	火	利用者ショッピング	4	東急付添い	シルバーサポーター	
14	火	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
15	水	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
16	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター	
16	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター	
16	木	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
17	金	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
18	土	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
20	土	2Fフロアボランティア	1	介護補助	一般	
20	月	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
21	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター	
21	火	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア	
21	火	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
22	水	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
23	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター	
23	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
23	木	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
24	金	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
25	土	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
27	月	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
28	火	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
28	火	利用者ショッピング	4	イオン付き添い	シルバーサポーター	
29	水	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
30	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター	
30	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター	
30	木	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
31	金	社協夏ボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター	
9	4	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター

	6	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	6	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	11	火	利用者ショッピング	4	東急付添い	シルバーサポーター
	13	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	13	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	16	日	草笛ボランティア	1	草笛、芸他	シルバーサポーター
	18	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	18	火	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア
	20	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	20	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	20	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園
	25	火	利用者ショッピング	4	イオン付き添い	シルバーサポーター
	27	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	27	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
10	2	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	4	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	4	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	6	土	傾聴ボランティア	2	利用者傾聴	社協ボランティアセンター ハピネス
	9	火	利用者ショッピング	4	東急付添い	シルバーサポーター
	11	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	11	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	12	金	傾聴ボランティア	2	利用者傾聴	社協ボランティアセンター ハピネス
	16	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	16	火	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア
	18	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	18	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	18	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園
	20	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	21	日	文化祭	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	23	火	利用者ショッピング	4	イオン付き添い	シルバーサポーター
	25	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	25	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
11	1	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	1	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	6	火	利用者ショッピング	4	東急付添い	シルバーサポーター
	8	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	8	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	9	金	傾聴ボランティア	2	2Fフロア 利用者傾聴	社協ボランティアセンター
	10	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	13	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	13	火	ミカン狩り	5	ミカン狩り付き添い	シルバーサポーター
	15	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	15	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	15	木	園児来園	20	利用者交流	加美平保育園
	16	金	理髪の日	4	利用者の理髪	有償ボランティア

	17	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	18	日	草笛ボランティア	1	草笛、芸他	シルバーサポーター
	20	火	喫茶の日	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	27	火	ミカン狩り	4	ミカン狩り付き添い	シルバーサポーター
	25	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	25	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	26	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
12	1	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	4	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	6	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	6	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	8	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	13	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	13	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	13	月	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	14	金	理髪の日	1	利用者の理髪	有償ボランティア
	15	土	クリスマス会	7	配膳、下膳、会場片付け	福生高校定時制
	15	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	18	火	喫茶の日	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	18	火	フロアボランティア	1	介護補助	一般
	20	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	20	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	22	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
	27	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	27	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	29	土	フロアボランティア	1	パット補充、掃除	社協ボランティアセンター
1	8	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	10	木	手芸クラブ	5	手芸手伝い	シルバーサポーター
	10	木	華道クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	10	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	15	火	喫茶の日	3	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	17	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	17	木	華道クラブ	2	華道教室補助	シルバーサポーター
	17	木	麻雀クラブ	2	利用者麻雀補助	社協ボランティアセンター
	18	金	理髪の日	1	利用者の理髪	有償ボランティア
2	5	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	7	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	14	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	12	月	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	12	月	フロアボランティア	1	コミュニケーション、配膳等	一般
	15	金	理髪の日	1	利用者の理髪	有償ボランティア

3	19	火	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	21	木	手芸クラブ	4	手芸手伝い	シルバーサポーター
	28	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	6	火	おやつバイキング	4	喫茶準備、食器洗浄	そよ風、シルバーサポーター
	7	木	手芸クラブ	2	手芸手伝い	シルバーサポーター
	14	木	華道クラブ	3	華道教室補助	シルバーサポーター
	14	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター
	6	月	喫茶の日	4	喫茶準備、食器洗浄等	そよ風、シルバーサポーター
	15	金	理髪の日	1	利用者の理髪	有償ボランティア
	19	火	喫茶の日	15	食品詰め等	福生社協、関係業者、福生高校等
	21	木	手芸クラブ	3	手芸手伝い	シルバーサポーター
	21	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター
	21	木	傾聴ボランティア	2	利用者傾聴	社協ボランティアセンター ハピネス
	26	火	利用者ショッピング	3	イオン付き添い	シルバーサポーター
	28	木	華道クラブ	2	華道教室補助	シルバーサポーター
	28	木	麻雀クラブ	1	利用者麻雀補助	福生ボランティアセンター

17. 慰問受入状況

月 日	慰問者名	人数	行事名等	内 容
4月8日	ファーヒルザミール	4	観桜会	ベリーダンス
	光江流 お江戸のかっぱれ	13	観桜会	光江流 江戸芸
5月22日	サルビア会	9	おやつバイキング	歌・舞踊
6月5日	永福カラオケ会	7	おやつバイキング	歌・舞踊
7月29日	山口夫妻	2	4F フロア	サクセス演奏
8月7日	葉月舞踊劇団	7	おやつバイキング	歌・舞踊
8月13日	ドックセラピーの会	8	ドックセラピー	ドックセラピー
8月14日	神谷奈穂（歌手）	1	納涼祭	歌謡ショー
9月9日	プアナニヘレマイローイヒ	8	敬老会	フラダンス
9月30日	山口夫妻	2	4F フロア	サクセス演奏
10月21日	G J P DANCEスクール	15	文化祭	キッズダンス
	O J - S u n s	3	文化祭	バンド演奏
12月16日	あきしまウィンドオーケストラ	10	クリスマス会	オーケストラ演奏
	清水姉妹	2	クリスマス会	ピアノ、バイオリン演奏
1月1日	獅子舞	8	元旦	獅子舞・お囃子
3月31日	山口夫妻	2	4F フロア	サクセス演奏
3月26日	モンステラ	8	3F フロア	ウクレレ演奏

18. 実習生及び職場体験生徒受入状況

月	期 間	実習依頼先	人 数	実習内容及び目的
5 月	05/15・05/16	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	05/22・05/23	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	05/14・15	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
6 月	05/21.22	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	05/28・29	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/04・05	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	6 月 12 日	サンシャインビラ介護学院	7	初任者研修
	06/18..・19	東京西の森歯科衛生士専門学校	2	初任者研修
	06/25・26	東京西の森歯科衛生士専門学校 西の森歯科衛生士	2	社会福祉士
7 月	07/26・27	福生高校 1 年生	3	職場体験学習
9 月	09/03～09/07	瑞穂中学校 2 年生	4	職場体験学習
	09/11～09/13	福生第 2 中学校	3	職場体験学習
	9 月 11 日	サンシャインビラ介護学院	4	初任者研修
12 月	12 月 6 日	サンシャインビラ介護学院	3	初任者研修
3 月	3/11～3/13	サンシャインビラ介護学院	10	初任者研修

受入研修費収入額： 0 円

19. 消防訓練実施結果

平成30年度は、引き続き震災への対応も含めた避難訓練に重点をおく訓練を行った。
また寝たきりの利用者の対応についても取り組む意識が出てきている。
そうしたことで、施設全体に防災の意識付けが出来た。

30年度訓練内容

日 時	訓練種別	内 容
4月30日	避難訓練	震災を想定した避難訓練。 特養及びデイサービスを対象とした全館の訓練
5月18日	防火管理 委員会	消防計画の再確認。 施設が危険区域に存在している為、水害の際に利用者を2階以上 に避難させる必要がある。 その為に、震災以外の想定もする必要がある。
6月	中止	
7月	中止	
8月	中止	
9月	中止	
10月20日	中止	
11月16日	中止	
12月22日	中止	
1月	避難訓練	寝たきりの利用者を対象とした避難訓練。 消防署に指導依頼をし、ベッドから屋外に避難する訓練。
2月21日	防火管理委 員会	BCPの策定について検討する。
3月21日	震災体験	地域住民との合同訓練 災害発生時の避難所としての役割 消防署に参加依頼をし、説明を受ける。

20. ショートステイ事業報告

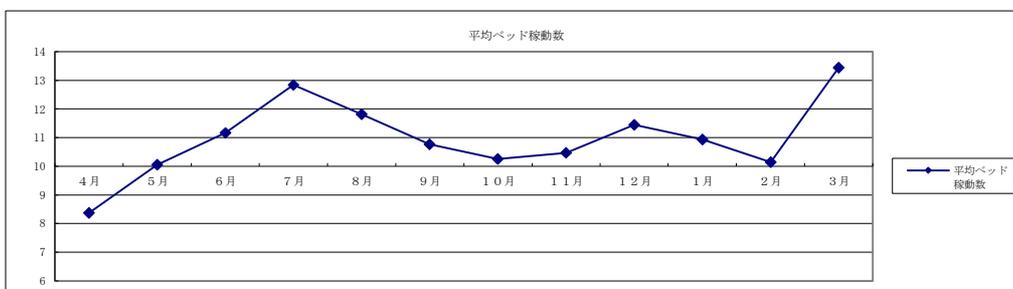
平成30年度も稼働率85%（13.6名/日）という目標を立てて運営努力した。
 この目標に対し、実績は29年度実績前年を下回り70.0%（11名/日）という結果であった。30年度も、措置依頼や緊急避難的な長期のショートステイ利用者を14名に設定して稼働したが、30年度スタートの際に、特養入所に多数切り替えた事で序盤が躓いてしまった。
 また、入所待機の利用者の医療機関入院が多く見られ、安定した稼働率が見込めなかった。
 加えて、申し込み利用者の医療依存度も高い方が多く見られた。
 31年度は、30年度同様に稼働率85.0%、13.6名/日の目標設定をし、稼働率の安定と向上に努めたい。
 介護報酬収入等年間実績 45,976,344円

人件費・直接介護支出・一般管理支出・施設管理費用は併設特養と按分しています。

平成30年度ショートステイ事業活動実績報告

月別利用者延人数調査

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用者数	16	15	20	19	24	19	16	17	21	19	13	18	217
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	4	1	2	2	3	1	1	1	1	1	1	1	19
要介護度2	2	2	2	1	1	0	0	2	2	3	1	1	17
要介護度3	2	3	8	6	9	9	5	5	7	8	7	9	78
要介護度4	6	7	6	7	7	5	7	7	8	5	4	6	75
要介護度5	2	2	2	3	4	4	3	2	3	2	0	1	28
延利用日数	251	312	335	398	366	323	318	314	355	339	284	417	4,012
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護度1	19	3	7	6	22	4	4	4	4	5	6	6	90
要介護度2	8	40	34	4	4	0	0	27	62	58	5	9	251
要介護度3	42	53	109	163	168	159	90	85	139	128	161	221	1518
要介護度4	151	167	125	159	111	90	179	164	122	141	112	164	1685
要介護度5	31	49	60	66	61	70	45	34	28	7	0	17	468
平均ベッド稼働数	8.37	10.06	11.17	12.84	11.81	10.77	10.26	10.47	11.45	10.94	10.14	13.45	年平均 10.98



ショートステイ利用日数状況調査（年間）

*前月から引き続いて入所されている場合は、入所月にカウントしています。

	1日～2日	3日～5日	6日～10日	11日～15日	16日～20日	21日以上	合計
4月	2	8	0	2	1	6	19
5月	1	6	1	2	1	8	19
6月	5	5	1	3	1	9	24
7月	6	3	1	0	0	12	22
8月	6	9	4	2	1	8	30
9月	6	4	3	0	2	8	23
10月	6	1	2	2	0	9	20
11月	6	2	2	2	0	9	21
12月	3	4	2	2	3	8	22
1月	5	4	2	1	1	10	23
2月	3	1	1	1	0	9	15
3月	4	2	2	1	2	11	22
合計	53	49	21	18	12	107	260
	20.4%	18.8%	8.1%	6.9%	4.6%	41.2%	100.0%

特養空床利用状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
空床利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2018年度

通所介護事業

(併設型通所介護事業)

(総合事業通所介護事業)

(高齢者生きがい活動支援デイサービス)

事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅サービスセンター加美

・通所事業（併設型通所介護事業・総合事業）

事業報告

在宅サービスセンターは、年度当初事業計画の基本目的・基本方針に則り、独自の特色を打ち出し、利用者のさまざまなニーズに対応すべくサービスの充実及び運営面の効率化を図り、地域の利用者に喜んで選ばれる『魅力あるセンターづくり』に重点を置き、利用者数の獲得を目指し事業を行った。

事業計画の重点施策で掲げた内容を踏まえ、サービス内容については毎月多様な行事を企画し（誕生会、手作りおやつ、ドライブ、外食会、季節行事など）、また趣味の会も書道・陶芸・手芸・水彩画、紙芝居、専門スタッフによる音楽リハビリの開催など、利用者がセンターでの一日を楽しく過ごしていただけるよう心掛けた。

介護職員は、経費削減を目指し、備品管理・在庫管理を徹底し、必要なものを必要なだけ発注するように心がけた。また安全第一を考えた介護・看護に努め、毎日のミーティングでは、成功事例、失敗事例を出し合い、又、利用者や家族のニーズを深く掘り下げていくことにより、より良いサービスの提供に努めた。送迎時の安全対策目標に関しては、ドライバーミーティングを毎月開催し徹底した安全運行により無事故無違反を達成した。

利用者数定員目標については、一年間の延べ利用者数を前年度と比較すると、併設型通所介護事業では前年度延べ利用者数9,627人に対し、今年度延べ利用者数8,298人と1,329人減となった。安定した利用者確保には、併設居宅支援事業所からの新規利用者紹介、既存利用者の週利用回数の増加を図ることがが効果的であり、また、地域の居宅支援事業所からの新規利用者獲得が重要である。そのためにもセンターからの各種情報発信や多様なサービスメニューを取り揃え魅力あるセンターにしていく必要がある。

通所デイはショートステイを活用され、最終的にサンシャインビラ、第2サンシャインビラ・第3サンシャインビラに入所されるケースが多くみられ、法人全体としては利用者並びにその家族に、幅広いサービスを提供出来たと思われる。

通所介護・総合事業実績：75,662,866円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のとおり成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

・職員配置（3月31日現在）

併設型通所介護 総合事業

職 種	常 勤		非 常 勤	
	人数	専任・兼務状況	人数	専任・兼務状況
管 理 者	1人	他事業を兼務		
生 活 相 談 員	2人	専任・機能訓練指導員を兼務	1人	
介 護 職 員	1人		13人	
看 護 職 員			3人	
機 能 訓 練 指 導 員			必要数	生活相談員・看護職員を兼務
調 理 員	必要数	他事業を兼務		
運 転 手				全利用日送迎時間帯に勤務
事 務 職 員	1人	他事業を兼務	1人	他事業を兼務

人件費実績：68,189,204円

福利厚生費実績：875,138円

併設型通所介護事業 月別延べ利用者数

単位：
人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	761	884	844	841	875	875	864	811	765	648	702	757	9,627
今年度	707	761	731	752	765	678	722	669	673	589	585	666	8,298
要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	286	323	321	309	349	310	342	302	317	268	281	331	3,739
要介護2	211	236	197	214	219	206	231	229	213	180	165	176	2,477
要介護3	141	134	131	141	123	99	86	75	74	83	91	109	1,287
要介護4	54	50	67	65	48	34	37	35	44	33	23	20	510
要介護5	15	18	15	23	26	29	26	28	25	25	25	30	285
	707	761	731	752	765	678	722	669	673	589	585	666	8,298
今年度-前年度	△ 54	△ 123	△ 113	△ 89	△ 110	△ 197	△ 142	△ 142	△ 92	△ 59	△ 117	△ 91	△ 1,329

併設型通所介護一日平均利用者数

単位：
人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数 ①÷②	28.28	28.19	28.12	28.92	28.33	26.08	26.74	24.78	25.88	24.54	24.38	25.62	26.68
延べ利用者数 ①	707	761	731	752	765	678	722	669	673	589	585	666	8,298
開所日数 ②	25	27	26	26	27	26	27	27	26	24	24	26	311

日常生活支援総合事業介護月別延べ利用者数

単位：
人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
前年度	0	7	3	12	29	32	40	46	39	38	55	60	361
今年度	55	59	47	54	38	38	38	45	49	61	65	72	621
要支援1	12	4	7	8	9	2	3	7	8	8	10	13	91
要支援2	43	55	40	46	29	36	35	38	41	53	55	59	530
経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	55	59	47	54	38	38	38	45	49	61	65	72	621
今年度-前年度	55	52	44	42	9	6	△ 2	△ 1	10	23	10	12	260

日常生活支援総合事業一日平均利用者数

単位：
人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
平均利用者数	2.20	2.19	1.81	2.08	1.41	1.46	1.41	1.67	1.88	2.54	2.71	2.77	2.00
延べ利用者数	55	59	47	54	38	38	38	45	49	61	65	72	621
開所日数	25	27	26	26	27	26	27	27	26	24	24	26	311

デイサービス入浴サービス

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
展望風呂	113	126	139	128	131	110	104	101	121	106	115	122	1,416
機械浴	162	173	163	164	163	152	168	159	159	148	150	163	1,924

給食費実績：4,397,646円 車両費実績：1,799,787円 教養娯楽費実績：844,277円
 介護用品費実績：204,140円 医薬品費実績：191,999円 保健衛生費実績：75,214円
 被服費実績：0円 日用品費実績：132,966円 消耗器具備品費実績：189,917円
 水道光熱費等実績：2,231,734円

高齢者生きがい活動支援デイサービス 事業報告

福生市からの委託事業で、おおむね65歳以上の自立の高齢者を対象に、生きがいづくりや心身機能の維持向上、介護予防及び閉じこもり防止を目的として事業活動を行った。

高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2サンシャインビル)

単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	148	175	168	169	191	164	185	183	169	157	158	194	2,061

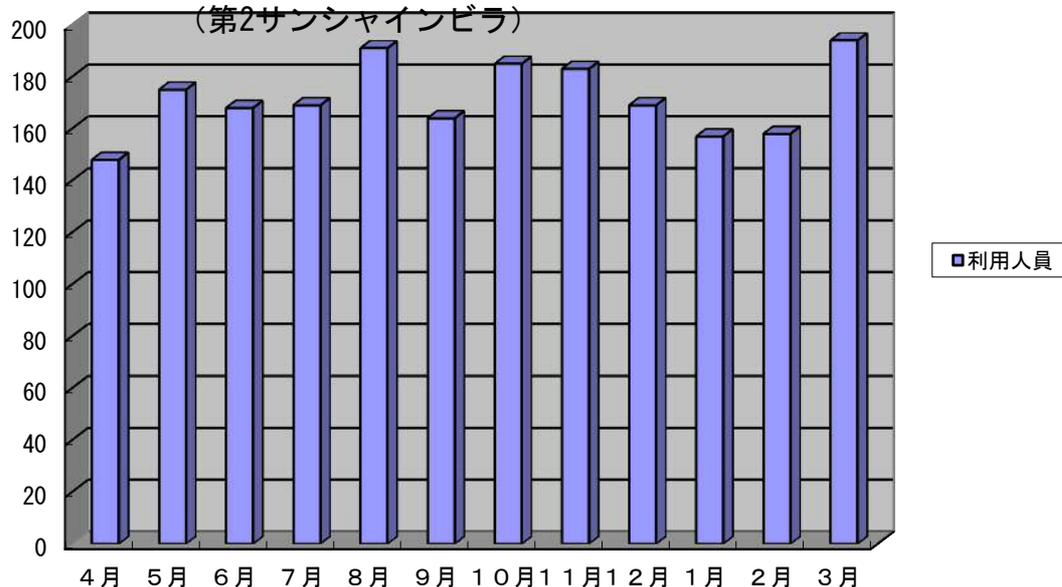
高齢者生きがい活動支援デイサービス入浴サービス(一般浴)延べ利用人員実績簿

単位：名

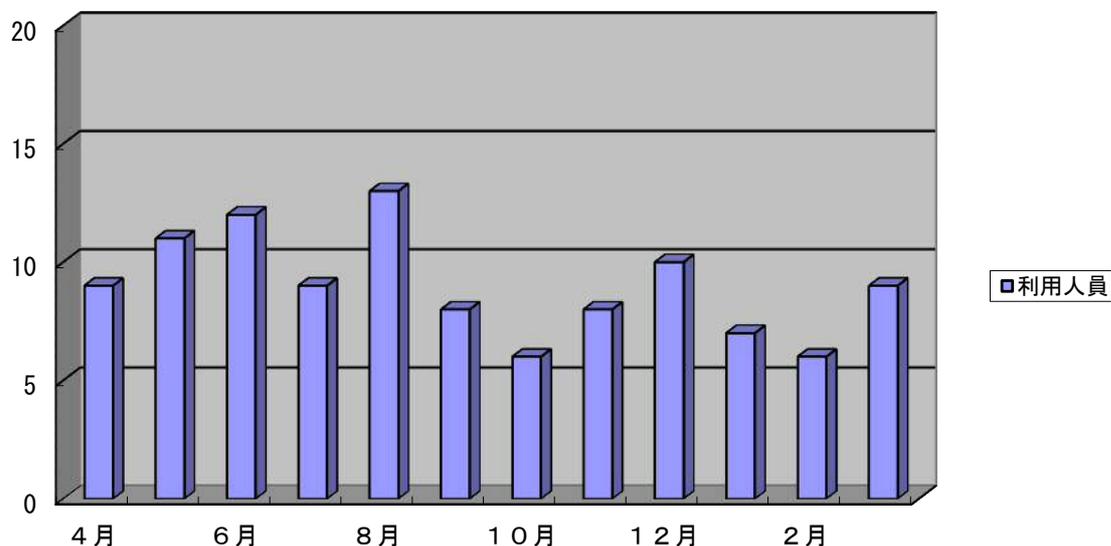
月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	9	11	12	9	13	8	6	8	10	7	6	9	108

高齢者生きがい活動支援デイサービス事業利用人員

(第2サンシャインビル)



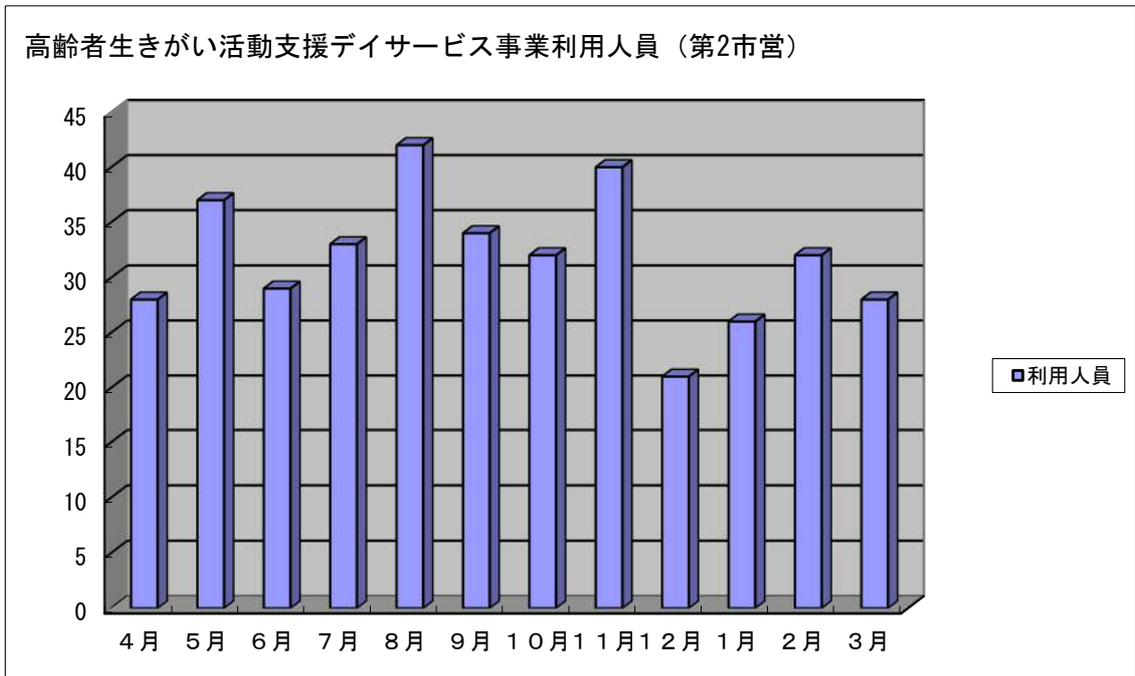
高齢者生きがい活動支援デイサービス事業入浴者人員



高齢者生きがい活動支援デイサービス延べ利用人員実績簿(第2市営)

単位：名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
利用人員	28	37	29	33	42	34	32	40	21	26	32	28	382



委託料実績：15,000,000円

【福生市生きがいデイサービス（第2サンシャインビル・第2市営）】

第2市営ではご近所の高齢者も多数参加し、活気ある生きがいデイサービス活動を行っている。
 開催内容は、利用者とともに決定し、ドライブ、ショッピング、カラオケなど魅力あるサービスが出来た。

4/1	日	
4/2	月	セツン草の会(聴講ホランティ)
4/3	火	おやつハイキング
4/4	水	
4/5	木	陶芸 D2:ドライブ・ショッピング(羽村フェリス・ヤコ)
4/6	金	
4/7	土	
4/8	日	
4/9	月	書道
4/10	火	陶芸
4/11	水	5F浴・陶芸
4/12	木	手芸 D2:ドライブ・ショッピング(瀬音の湯)
4/13	金	5F浴・紙芝居作り
4/14	土	
4/15	日	

4/16	月	セツン草の会・茶道
4/17	火	喫茶の日
4/18	水	5F浴・音楽療法・書道
4/19	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(日の出イオンあきる野つつじ)
4/20	金	水彩画
4/21	土	
4/22	日	
4/23	月	書道
4/24	火	陶芸
4/25	水	5F浴・陶芸
4/26	木	D2:第2サンシャインビル来園
4/27	金	5F浴・シニア・紙芝居作り
4/28	土	
4/29	日	
4/30	月	茶道

5/1	火	喫茶の日
5/2	水	5F浴・音楽療法・書道
5/3	木	陶芸 D2:のんびりデイ
5/4	金	5F浴
5/5	土	
5/6	日	
5/7	月	セツン草の会・茶道
5/8	火	陶芸
5/9	水	5F浴
5/10	木	手芸 D2:青梅市立美術館・食事会(おくだま路)
5/11	金	5F浴・紙芝居作り
5/12	土	
5/13	日	
5/14	月	書道
5/15	火	おやつハイキング

5/16	水	5F浴・音楽療法・書道
5/17	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ・村山・瑞穂)
5/18	金	5F浴・水彩画
5/19	土	
5/20	日	
5/21	月	セツン草の会・茶道
5/22	火	陶芸
5/23	水	5F浴・陶芸
5/24	木	D2:ドライブ・ショッピング(あきる台公園・ファーマーズセンター)
5/25	金	5F浴・シニア・紙芝居作り
5/26	土	
5/27	日	
5/28	月	書道
5/29	火	
5/30	水	5F浴
5/31	木	手芸 D2:ショッピング(あきる野東急)

6/1	金	5F浴
6/2	土	
6/3	日	
6/4	月	茶道
6/5	火	おやつハイキング
6/6	水	5F浴・音楽療法・書道
6/7	木	陶芸 D2:耕心館(折り紙展)・ショッピング(瑞穂モール)
6/8	金	5F浴・紙芝居作り
6/9	土	
6/10	日	
6/11	月	書道
6/12	火	陶芸
6/13	水	5F浴
6/14	木	手芸 D2:ドライブ(吹上しょうぶ園)
6/15	金	5F浴

6/16	土	
6/17	日	
6/18	月	茶道
6/19	火	喫茶の日
6/20	水	5F浴・音楽療法・書道
6/21	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ・瑞穂イオンパーク)
6/22	金	シニア・紙芝居作り
6/23	土	
6/24	日	
6/25	月	
6/26	火	
6/27	水	5F浴・陶芸
6/28	木	D2:ドライブ(多摩湖)
6/29	金	5F浴
6/30	土	

7/1	日	
7/2	月	セツン草の会
7/3	火	おやつパイク
7/4	水	5F 浴・音楽療法
7/5	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(日の出イッ・青梅方面)
7/6	金	
7/7	土	
7/8	日	
7/9	月	書道
7/10	火	陶芸
7/11	水	5F 浴・陶芸
7/12	木	D2:のんびりデー
7/13	金	紙芝居作り
7/14	土	
7/15	日	

7/16	月	茶道
7/17	火	喫茶の日
7/18	水	5F 浴・音楽療法・書道
7/19	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ・昭島カスベリ)
7/20	金	5F 浴・水彩画
7/21	土	
7/22	日	
7/23	月	書道
7/24	火	陶芸
7/25	水	5F 浴・書道・陶芸
7/26	木	D2:第2サンシャイン来園
7/27	金	5F 浴・シニア・紙芝居作り
7/28	土	
7/29	日	
7/30	月	書道
7/31	火	

8/1	水	5F 浴・音楽療法
8/2	木	手芸・陶芸 D2:のんびりデー
8/3	金	5F 浴
8/4	土	5F 浴
8/5	日	
8/6	月	茶道
8/7	火	おやつパイク(葉月劇団慰問)
8/8	水	5F 浴・書道・陶芸
8/9	木	D2:ショッピング・ドライブ(あきる野東急・サマート方面)
8/10	金	5F 浴
8/11	土	
8/12	日	
8/13	月	書道
8/14	火	陶芸
8/15	水	5F 浴・音楽療法・書道

8/16	木	手芸・陶芸 D2:のんびりデー
8/17	金	水彩画
8/18	土	
8/19	日	
8/20	月	茶道
8/21	火	喫茶の日
8/22	水	陶芸
8/23	木	D2:ショッピング・ドライブ(ヤコ・昭和記念公園方面)
8/24	金	5F 浴・シニア・紙芝居作り
8/25	土	
8/26	日	
8/27	月	書道
8/28	火	陶芸
8/29	水	5F 浴
8/30	木	手芸・陶芸 D2:第2サンシャイン来園
8/31	金	5F 浴

9/1	土	
9/2	日	
9/3	月	茶道 セツン草の会
9/4	火	おやつパイク
9/5	水	音楽療法・書道
9/6	木	手芸・陶芸 D2:ドライブ(瑞穂・耕心館)
9/7	金	5F 浴
9/8	土	5F 浴
9/9	日	
9/10	月	書道
9/11	火	陶芸
9/12	水	陶芸
9/13	木	D2:のんびりデー
9/14	金	5F 浴・紙芝居作り
9/15	土	

9/16	日	
9/17	月	茶道
9/18	火	喫茶の日
9/19	水	音楽療法・書道
9/20	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ(日の出イッ・羽村彼岸花)
9/21	金	水彩画
9/22	土	5F 浴
9/23	日	
9/24	月	書道
9/25	火	陶芸
9/26	水	陶芸
9/27	木	D2:第2サンシャイン来園
9/28	金	5F 浴・シニア・紙芝居作り
9/29	土	
9/30	日	

10/1	月	セツン草の会
10/2	火	おやつパイク
10/3	水	音楽療法

10/16	火	喫茶の日
10/17	水	音楽療法・書道
10/18	木	手芸・陶芸 D2:のんびりデー

10/4	木	手芸 D2: ショッピング (あきる野東急)
10/5	金	5F 浴
10/6	土	
10/7	日	
10/8	月	書道
10/9	火	陶芸
10/10	水	書道・陶芸
10/11	木	D2: トライヴ・ショッピング (秋留台公園・ファーマーズセンター)
10/12	金	紙芝居作り
10/13	土	三味線演奏慰問
10/14	日	
10/15	月	茶道

10/19	金	
10/20	土	5F 浴
10/21	日	
10/22	月	書道
10/23	火	陶芸
10/24	水	陶芸
10/25	木	D2: 第2サツインビラ来園
10/26	金	シニアガ・紙芝居作り
10/27	土	5F 浴
10/28	日	
10/29	月	
10/30	火	
10/31	水	

11/1	木	手芸・陶芸 D2: 外食会 (かんぼの宿)・玉堂美術館・御嶽溪谷
11/2	金	5F 浴
11/3	土	サツインビラ文化祭参加
11/4	日	
11/5	月	茶道
11/6	火	焼き芋大会
11/7	水	音楽療法・書道
11/8	木	D2: ショッピング・トライヴ (ヤコ・瑞穂方面)
11/9	金	5F 浴・紙芝居作り
11/10	土	5F 浴
11/11	日	
11/12	月	書道
11/13	火	陶芸
11/14	水	
11/15	木	D2: トライヴ (多摩湖方面)

11/16	金	5F 浴
11/17	土	5F 浴
11/18	日	
11/19	月	セブソ草の会
11/20	火	喫茶の日
11/21	水	音楽療法・書道
11/22	木	手芸 D2: のんびりデイ
11/23	金	5F 浴・シニアガ
11/24	土	5F 浴
11/25	日	
11/26	月	書道
11/27	火	陶芸
11/28	水	陶芸
11/29	木	D2: 第2サツインビラ来園
11/30	金	5F 浴

12/1	土	5F 浴
12/2	日	
12/3	月	茶道
12/4	火	おやつパーティンク
12/5	水	音楽療法・書道
12/6	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング・トライヴ (ヤコ・昭島方面)
12/7	金	5F 浴
12/8	土	5F 浴
12/9	日	
12/10	月	書道
12/11	火	陶芸
12/12	水	陶芸
12/13	木	D2: のんびりデイ
12/14	金	5F 浴・紙芝居作り
12/15	土	5F 浴

12/16	日	
12/17	月	茶道・セブソ草の会
12/18	火	喫茶の日
12/19	水	音楽療法・書道
12/20	木	手芸・陶芸 D2: ショッピング (あきる野東急)
12/21	金	5F 浴・クリスマス会
12/22	土	5F 浴・クリスマス会
12/23	日	
12/24	月	書道
12/25	火	陶芸
12/26	水	陶芸
12/27	木	
12/28	金	5F 浴
12/29	土	
12/30	日	
12/31	月	

1/1	火	休み
1/2	水	
1/3	木	
1/4	金	5F 浴
1/5	土	
1/6	日	
1/7	月	茶道

1/16	水	音楽療法・書道
1/17	木	手芸・陶芸 D2: お汁粉作り
1/18	金	壁画作り
1/19	土	5F 浴
1/20	日	
1/21	月	茶道
1/22	火	陶芸

1/8	火	喫茶の日・陶芸
1/9	水	陶芸・書道
1/10	木	手芸 D2:ショッピング (あきる野東急)
1/11	金	5F 浴・紙芝居作り
1/12	土	5F 浴
1/13	日	
1/14	月	書道
1/15	火	おやつハイキング

1/23	水	陶芸
1/24	木	D2:ショッピング・ドライブ (ヤコー・青梅方面)
1/25	金	シニアが・紙芝居作り
1/26	土	
1/27	日	
1/28	月	書道・誕生食(紅白まんじゅう)
1/29	火	誕生食(紅白まんじゅう)
1/30	水	音楽療法・誕生食(紅白まんじゅう)
1/31	木	陶芸 D2:第2サンシャインビラ来園

2/1	金	
2/2	土	
2/3	日	
2/4	月	茶道
2/5	火	おやつハイキング
2/6	水	音楽療法・書道
2/7	木	手芸・陶芸 D2:ショッピング・ドライブ (伊弉諾日 の出福祉センター・河津桜)
2/8	金	5F 浴・紙芝居作り
2/9	土	5F 浴
2/10	日	
2/11	月	書道
2/12	火	陶芸
2/13	水	陶芸
2/14	木	D2:のんびりデイ
2/15	金	5F 浴

2/16	土	
2/17	日	
2/18	月	茶道
2/19	火	喫茶の日
2/20	水	音楽療法・書道
2/21	木	手芸・陶芸・誕生食(桜餅) D2:ドライブ (瑞 穂町・耕心館)
2/22	金	5F 浴・シニアが・紙芝居作り・誕生食(桜餅)
2/23	土	5F 浴・誕生食(桜餅)
2/24	日	
2/25	月	書道
2/26	火	陶芸
2/27	水	陶芸
2/28	木	D2:第2サンシャインビラ来園

3/1	金	5F 浴
3/2	土	
3/3	日	
3/4	月	セブンス草の会・茶道
3/5	火	おやつハイキング
3/6	水	書道
3/7	木	手芸・陶芸 第2市営:ドライブ
3/8	金	シニアが・紙芝居作り
3/9	土	
3/10	日	
3/11	月	書道
3/12	火	陶芸
3/13	水	陶芸
3/14	木	第2市営:のんびりデイ
3/15	金	5F 浴

3/16	土	5F 浴
3/17	日	
3/18	月	茶道
3/19	火	喫茶の日
3/20	水	書道
3/21	木	手芸・陶芸 第2市営:ショッピング
3/22	金	5F 浴・紙芝居作り
3/23	土	
3/24	日	
3/25	月	書道
3/26	火	陶芸
3/27	水	陶芸
3/28	木	D2:第2サンシャインビラ来園
3/29	金	5F 浴
3/30	土	5F 浴
3/31	日	

趣味の会活動報告

生きがいのある快適で豊かな日常生活を送ることが出来るよう、第2サンシャインビルで開催しているクラブ活動を活用して、「趣味の会」を提供し、この会を通じて仲間づくり、老いや障害の受容、心身機能の維持向上、自信の回復、孤立感の解消を図る。書道・手芸・華道・陶芸・水彩画・茶道・アメリカンフラワー・シニアヨガ・紙芝居・音楽リハビリの「趣味の会」の活動をおこなった。

クラブ活動実施時には当日来園された多くの利用者が参加し、笑顔の耐えない活気のある時間を過ごして頂けた。特に、シニアヨガ・音楽リハビリについては、普段は体を動かす機会が少ない利用者が活発に参加され、心身のリフレッシュに多いに役立っている。

記録については第2サンシャインビル事業報告書を参照のこと。

研修報告

東京都社会福祉協議会開催の研修、施設内研修などの参加を推進し、介護職員のスキル向上を目指した。研修実施記録については第2サンシャインビル事業報告書を参照のこと。

旅費交通費・研修費実績： 0円

【施設設備改善及び備品購入報告について】

- ① 物品購入実績 実績なし
- ② 施設における共通経費は併設第2サンシャインビルと按分

2018年度

高齢者在宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

高齢者在宅介護支援センター加美

事業報告

高齢者在宅介護支援事業（福生市からの委託事業）

事業計画基本方針に則り高齢者支援業務を行った。

近年、精神障害に関する相談、経済的、財産相談、成年後見制度関係、高齢者虐待関係の相談が目立って増えており、非常に困難なケースが増加しているが、地域包括支援センターとの協力により問題解決に取り組んでいる。

地域との関わり（民生委員、消防署、老人会、小地域活動等）だけでなく、保健所、医療機関との連携、他市の支援センターとの協力体制等、これまで以上に広がりを持ったネットワークづくりをしながら、対応に努められた。

高齢者や、その家族、近隣、地域からの多種多様な相談にも、それぞれのケースに応じた適切かつ早期対応に努めている。

また、事業計画重点施策については2-3ページにまとめた。

【職員配置・管理運営】

3.31現在

職名	職員配置人数と氏名（資格）	
管 理 者	1	佐々木 和仁
相 談 員	2	鈴木 敦子 : 介護福祉士 勝田 幸恵 : 介護福祉士

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書 平成30年度年間合計分

I 安否確認

1- (1) 安否確認件数 (実人数)

	新	規	継	続	月	合	計
件数	194		1034				1228

年度合計	1228
------	------

1- (2) 安否確認件数 (延人数)

	訪	問	不	在	合	計
件数	2161		349			2510

80歳名簿	訪問人数	801		
(訪問人数)	在 家	651	不 在	150
(在家内訳)	元 気	160	相 談	491

III 相談件数

1- (1) 相談件数 (実人数)

	新	規	継	続	合	計
件数	637		1367			2004

1- (2) 相談件数及び内訳 (延人数)

		電	話	来	所	訪	問	合	計			
本	人	645		112		1456		2213				
家	族	配	偶	者	46	5	70	121				
		実	子	80	4	76	160					
		実	子	の	配	偶	者	9	1	18	28	
		そ	の	他	21	0	30	51				
知	人	・	隣	人	17	0	3	20				
民	生	委	員	27	16	42	85					
医	療	機	関	40	0	44	84					
福	祉	関	係	機	関	(施	設)	120	4	34	158
行	政	機	関	647	6	249	902					
そ	の	他	246	0	15	261						
合	計	1898		148		2037		4083				

II シルバーピア

	新	規	継	続	合	計
件数	5		46			51

(内 訳)	日	中	夜	間
電 話 対 応		111		0
協 力 員 確 認		500		0
訪 問 対 応		197		0
不 在		32		0
合 計		840		0

2 相談への対応

情 報 提 供	1996
連 絡 調 整	264
ケ ー ス 検 討	302
状 況 確 認	1996
通 院 ・ 外 出 支 援	63
精 神 的 支 援	1800
合 計	6421

3 会議等の実施状況

支 援 セ ン タ ー 連 絡 会	24
民 生 委 員 等 情 報 交 換	34
ケ ー ス カ ン フ ァ レ ン ス	26
合 計	84

4 申請代行内訳

介 護 保 険 申 請	37
各 種 在 宅 サ ー ビ ス 申 請	107
そ の 他	0
合 計	144

(内 ・ 緊 急 キ ッ ド)

5 夜間緊急時の対応

電 話 対 応	1
そ の 他	0
合 計	1

福生市在宅介護支援センター加美 運営報告書 平成30年度年間合計分

5 相談内容等

在宅サービス		施設サービス		その他	
種別	種別	種別	種別	種別	種別
《介護保険サービス》		介護保険施設相談	160	介護全般に関する相談	1669
【介護保険関係の相談】	594	養護老人ホーム	157	医療に関する相談	1373
	その他高齢者施策	その他(有料、ケアハウス等)	147	住宅に関する相談	668
	・おむつ等の助成	計	464	経済的・財産に関する相談	424
《一般施策サービス》				家族関係相談	587
高齢者の生活支援事業関係	・緊急通報・火災安全システム	27		認知症に関する相談	275
・寝具類等乾燥消毒サービス	・福祉バス	150		消費相談関係	41
・訪問理美容サービス	・老人杖の支給	43		成年後見制度関係	72
	・救急キット 災害時要援護者	237		高齢者虐待関係	16
	・その他	16		シルバーピア関連相談	152
介護予防・地域支援支え合い事業	【一般施策サービス合計】	1987		他担当部署に関する相談	27
・生きがい活動支援デイサービス	448			その他	8
・生活支援ホームヘルプサービス	60	《包括的支援事業》		計	5312
・生活支援ショートステイ	38	・介護予防教室	579		
・徘徊高齢者家族支援サービス	14	【包括的支援事業合計】	579		
・配食サービス	373				
		《社会福祉協議会サービス》			
高齢者いきいき事業	【社会福祉協議会福祉サービス】	316			
・家具転倒防止装置設置	25				
・自立支援日常生活用具関係	218				
・自立支援住宅改修関係	228				

平成 30 年度 福生市高齢者在宅介護支援センター会議等出席状況

日付	会議名称等	出席職員
平成 30 年 4 月 13 日	家族介護者教室打ち合わせ	鈴木・勝田
平成 30 年 4 月 25 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 4 月 27 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 5 月 18 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 5 月 22 日	小地域福祉活動福祉地区連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 5 月 25 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 6 月 12 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
平成 30 年 6 月 14 日	小地域活動 本町 1 2 3 会	鈴木
平成 30 年 6 月 22 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 6 月 27 日	家族介護者教室打ち合わせ	鈴木・勝田
平成 30 年 6 月 29 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 7 月 18 日	家族介護者教室	鈴木・勝田
平成 30 年 7 月 20 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 7 月 27 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 8 月 9 日	家族介護者教室	鈴木・勝田
平成 30 年 8 月 14 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木
平成 30 年 8 月 24 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 8 月 29 日	家族介護者教室	勝田
平成 30 年 8 月 31 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 9 月 18 日	民生委員懇談会	鈴木・勝田
平成 30 年 9 月 21 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 9 月 28 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 30 年 10 月 9 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
平成 30 年 10 月 18 日	加美地区個別地域ケア会議	鈴木・勝田
平成 30 年 10 月 20 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 10 月 26 日	包括・在支連絡会	鈴木
平成 30 年 11 月 8 日	小地域活動 123 会	勝田
平成 30 年 11 月 16 日	在宅介護支援センター加美地区ケース検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 11 月 30 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田

平成 30 年 12 月 11 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
平成 30 年 12 月 21 日	在宅介護支援センター加美地区検討会議	鈴木・勝田
平成 30 年 12 月 28 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 31 年 1 月 18 日	在宅介護支援センター加美地区検討会議	勝田
平成 31 年 1 月 25 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 31 年 2 月 8 日	小地域福祉活動福祉地区連絡会	勝田
平成 31 年 2 月 12 日	青梅・秋川ブロック会	鈴木・勝田
平成 31 年 2 月 15 日	在宅介護支援センター加美地区検討会議	鈴木・勝田
平成 31 年 2 月 21 日	家族介護者教室反省会	鈴木・勝田
平成 31 年 2 月 22 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
平成 31 年 3 月 14 日	加美地区個別地域ケア会議	鈴木・勝田
平成 31 年 3 月 15 日	小地域活動加美平いきいき	鈴木・勝田
平成 31 年 3 月 22 日	在宅介護支援センター加美地区検討会議	勝田
平成 31 年 3 月 29 日	包括・在支連絡会	鈴木・勝田
	以上	

2018年度

指定居宅介護支援事業
事業報告書

社会福祉法人福陽会

介護プランセンターサンシャインビラ

事業報告

- 本年度は年間延べ2,036件（前年度1,888件）のケアプラン作成業務を行った。
- 福生市等からの委託業務である要介護認定調査、介護予防ケアプラン作成受託業務を積極的に行った。
- 併設事業である、訪問介護・通所介護・短期入所生活介護等への情報提供を積極的に行い、併設事業の人員確保に努めた。情報提供では連絡事項を文書化し、これにより適切かつ円滑な連絡方法が確立できた。
- 利用者個別ファイルを作成し、契約～アセスメント～ケアプラン作成～モニタリングと一元管理することで業務効率を図った。
- よりよいケアプランを利用者に提供すべく、資質向上・情報収集のため、積極的に研修に参加した。
- 他の法人が運営する居宅介護支援事業所と共同で研修回答を開催。
- 東京都介護支援専門員実務研修実施機関として登録。実習生を受け入れた。

収入実績：35,335,168円

【中長期経営計画達成状況】

利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかるべく、事業運営を心がけ、そして利用者・地域住民から評価される質の高いサービス提供することができた。年度当初目標を常に心がけ、一年間の事業運営にあたり、結果として、冒頭のと通りの成果を残すことが出来た。次年度以降も職員が初心を忘れずに各自が責任を持って業務を遂行していく。

職員配置（2019年3月31日現在）

職名	当センター職員配置人数と氏名（資格）	
センター長	1	佐々木 和仁
管 理 者	1	新橋 和枝
介護支援専門員	7	新橋 和枝（主任介護支援専門員 管理者兼務） 鈴木 俊哉（介護支援専門員） 齋藤 澄子（介護支援専門員） 中川 祥子（主任介護支援専門員） 大谷 真澄（介護支援専門員） 山下 晶子（非常勤介護支援専門員） 久保 満（非常勤介護支援専門員）

人件費実績：34,424,104円

福利厚生費実績：145,851円

ケアプラン

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	total
													0
ケアプラン作成													2,036
													0
要介護1	63	69	68	66	69	66	66	70	72	71	74	76	830
要介護2	40	42	42	44	41	45	42	47	51	51	50	51	546
要介護3	25	25	26	26	26	26	21	19	23	26	26	27	296
要介護4	23	24	23	20	20	20	23	23	24	22	22	23	267
要介護5	9	6	6	8	7	8	9	8	10	8	8	10	97

要支援受託

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
要支援 受託	27	27	28	30	29	29	32	33	33	36	38	39	381

認定調査実施件数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
認定 調査	8	10	6	4	2	4	6	3	10	6	3	9	71

研修・会議等出席状況

月日	研修名称等	出席職員
4月	福生市主任介護支援専門連絡会 / 介護認定審査会委員新規研修	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・久保・鈴木
5月	福生市介護保険事業者連絡協議会「研修：福祉サービス第三者評価について」	齋藤・大谷
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 5回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
6月	第1期 東京都介護支援専門員研修過程Ⅱ×1回	齋藤
	公開研修 第2 サンシャインビラ「アンガーマネジメント」	齋藤・大谷・中川・山下・新橋
	福生市地域包括支援センター主催 主任介護支援専門員対象「認知症予防」	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
7月	第1期 東京都介護支援専門員研修過程Ⅱ×2回	齋藤・久保
	保険者によるケアプラン相談・ケアプラン点検	新橋
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 5回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	第1回 地域医療連携担当者研究会	齋藤・大谷・中川
8月	第1期 東京都介護支援専門員研修過程Ⅱ×3回	齋藤・久保
	第8回 福祉機器展	齋藤・大谷・山下
	H30年度東京都主任介護支援専門員研修課題説明会	新橋
	東京都介護支援専門員実務研修における実習受入事業所説明会	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
9月	第1回 羽村市介護支援専門員研修 「アドバンスケアプランニング（ACP）とは」	齋藤・大谷・鈴木・新橋
	第2回 特定居宅介護支援事業所 共同研修会	中川
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
10月	福生市地域包括支援センター福生・熊川主催 「自立支援の考え方」	大谷・鈴木・中川・山下
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 7回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	東京都主任介護支援専門員研修×3回	新橋
	福生市主任介護支援専門員連絡会	中川
	福生市介護保険事業者連絡協議会「AI（人工知能）について」	中川・山下
	福生市地域包括支援センター主催ケアプラン相談会	大谷
11月	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅰ×2回	大谷
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	第3回 特定居宅介護支援事業所 共同研修会	大谷・中川・新橋
	東京都主任介護支援専門員研修×4回	新橋
12月	福生市地域包括支援センター主催ケアプラン相談会	齋藤
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅰ×2回	大谷
	福生市主任介護支援専門員連絡会	中川
	東京都主任介護支援専門員×1回	新橋
1月	第4回 特定居宅介護支援事業所 共同研修会	齋藤・新橋
	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅰ×2回	大谷
	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 5回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	東京都主任介護支援専門員×2回	新橋
2月	東京都介護支援専門員専門研修過程Ⅰ×1回	大谷

	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	羽村市介護支援専門員研修 「意思決定支援・緊急性の判断」	鈴木・中川・山下
	福生市主任介護支援専門員連絡会	中川
	東京都主任介護支援専門員×2回	新橋
3月	利用者の近況報告・事業所内ミーティング 4回	新橋・中川・山下・大谷・齋藤・久保・鈴木
	羽村市介護認定調査員研修会 羽村市	大谷・中川・新橋
	福生市地域包括支援センター福生・熊川主催「ケアマネジャー、サービス事業所のリスク管理について考える」	中川

研修費・旅費実績：171,800円

その他の経費予算額（併設第2サンシャインビルと面積按分等で計上しています）

2018年度

指定訪問介護事業
指定介護予防訪問介護事業
指定居宅介護(障害者自立支援法)
指定重度訪問介護(障害者自立支援法)
事業報告書

社会福祉法人福陽会
ヘルパーステーション サンシャインビラ

ヘルパーステーションサンシャインビラでは「人がその人らしく生活できる環境づくり」をモットーに利用者が健康で生活感あふれる日常を過ごせるよう援助することを基本目標とし、事業活動を行った。

サービス提供時間数は本年度延べ 25,162 時間（前年度 25,930 時間）、派遣回数延べ 29,602 回（前年度 29,461 回）、月平均にすると 2,097 時間（前年度 2,161 時間）、2,467 回（前年度 2,455 回）の訪問介護サービスを提供しました。利用者数は延べ 1111 人（サービス終了分を含む。3 月 31 日現在実利用者数 94 名）となっています。

障害者自立支援法に基づく指定居宅介護は延べ 110 時間、派遣回数延べ 101 回、月平均にすると 9 時間、8 回のサービス提供でありました。重度訪問介護のサービス提供は本年度はありませんでした。

なお、市区町村の支援事業として実施している移動支援事業のサービス提供時間数は本年度延べ 114 時間、派遣回数は延べ 151 回、月平均では 9 時間、訪問回数は 13 回、利用者数は現在 1 名です。

重点を置いた活動内容として、利用者や家族に対するコミュニケーションの重要性とサービスに対する満足度の調査、ヘルパーの援助方法の向上を目的とし、利用者宅への頻繁な訪問を心掛けた。

利用者の「自立支援」をいかに提供し、また、利用者に満足していただけるサービスをいかに提供するかを、ヘルパー個人への指導、教育、そして基本理念の十分な理解と心のこもった暖かい対応を通してすすめていった。

同時に経験の少ないヘルパーや、資格を得て間もないヘルパーに対し、技術面での具体的な研修や、精神的な援助の方法、コミュニケーションの回り方の相談を行うことで、フォローやバックアップの体制を築いていき、利用者への満足度の増加と危険性の減少、そしてヘルパーの不安解消、実力向上に努めた。

来年度以降も新規利用者の獲得とサービス提供時間数を増やすことを目標とし、また登録ヘルパー全体での研修やチームミーティング等も積極的に取り入れ、ヘルパー個人の対応能力を幅広く持てるようにし、より良いサービスの提供に尽力していく。

(1) 中期経営計画(H30 年度～H34 年度)の達成について

- I 利用者様が明るく豊かに生活でき、利用者様のご家族様が施設生活に対して信頼や安心を感じてもらえるような、個々のニーズにあったサービス提供並びにプライバシーに配慮したサービス提供の充実をはかってきた。
- II 中期基本方針に基づき、利用者に満足してもらえる質の高いサービスが提供できた。またサービス向上への取り組み、職員教育にも力を注いだ。
- III 安定した介護報酬収入を目指し、新規利用者獲得へ向け努力した。

研修実施報告書

今年度実施した研修について以下のとおり報告する。

開催日	研修内容	参加者 (人数)
4月20日	新人職員研修（随時） 訪問介護サービスについて（1） 訪問先への責任者同行実施研修	15
5月25日	新人職員研修（随時） 訪問介護サービスについて（2） 訪問先への責任者同行実施研修	12
6月22日	介護のアンガーマネジメント 事例検討	13
7月27日	感染症について 事例検討	20
8月24日	食中毒・高齢者向けの調理 事例検討	18
9月21日	医療との連携について 高齢者に多い疾患 事例検討	13
10月26日	自立支援について 事例検討	15
11月30日	状況の観察と緊急時の対応 事例検討	18
12月21日	事故発生、再発防止に関する研修 ヒヤリハット事例検討	16
1月25日	介護職員のコミュニケーションスキル 事例検討	20
2月22日	介護実習（基本的なボディメカニクス） 事例検討	21
3月22日	平成30年度を振り返り 自己反省・自己評価	16

職員配置

（2019年3月31日現在）

職種	人数	常勤 非常勤	専任・兼務状況
管理者	1	常勤	サービス提供責任者・訪問介護員を兼務
サービス提供責任者	5	常勤	管理者・訪問介護員を兼務
		常勤	訪問介護員を兼務
訪問介護員	49	（常勤兼務5名） 常勤1名 非常勤43名	

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院
〈介護職員初任者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
受講者地域・男女別一覧表	2
教育課程の実施報告	3～4

事業報告

平成 30 年度の「介護職員初任者研修講座」は、事業計画通り年 4 回実施した。

受講理由は家族の介護に役立てるため、今後の高齢化社会に貢献するため等様々であったが、研修の終盤には資格取得後すぐに介護の現場で仕事をしてみたい、と希望する受講生が多数みられた。

また、高齢者の事故や介護に関する報道を見聞きして、超高齢化社会における様々な問題に深い関心を持つ受講生が多かった。

修了評価試験の導入により座学の講義中も緊張感が漂い、各自が工夫してメモやノートを作成したり、グループワークの際も積極的に発言する様子が見え、活気に満ちた研修内容であった。

講師を務めた当法人の職員は、研修カリキュラムを基に如何にして受講生に解り易い講義・演習を実施できるかを課題としていたが、各自の創意工夫により受講生からの評価も高く充実した研修であった。

平成 30 年度の研修において、当法人の教育方針である「介護職員初任者研修事業を通じて、高齢者介護に対する知識、技術の向上を図り地域社会に貢献する」という目標は概ね達成された。

平成 30 年度 受講者地域・男女別一覧表

(人)

通算	63 期	64 期	65 期	66 期	合計
福生市	2(1)			3(1)	5(2)
羽村市	3(1)	1(1)	1	2(1)	7(3)
青梅市	1	5(1)		4	10(1)
あきる野市	3	1		1	5
昭島市	1(1)	2	1	1	5(1)
立川市				1	1
瑞穂町					
武蔵村山市	1		2(1)		3(1)
東大和市					
東村山市					
八王子市	1(1)			1(1)	2(2)
日の出町			1		1
府中市					
奥多摩町			1(1)		1(1)
その他	1	1			2
合 計	13(4)	10 (2)	6(2)	13(3)	42 (11)

※()内の数字は男性の受講者数

教育課程の実施報告

(募集手続き)

募集手続きは次の通りとした。

- (1) 当法人指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。
ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (2) 当法人は書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 当法人は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 当法人は、受講申し込み時または受講日初日、公的証明書にて本人確認を実施する。

(科目の免除)

科目の免除についてはこれを認めない。

(修了の認定)

修了の認定は、第9条に定めるカリキュラムを全て履修し、次の修了評価を行った上、修了認定会議において基準に達したと認められた者に対して行う。

- (1) 修了評価は、担当講師が科目ごとに行い、その評価をまとめて項目全体の評価を行う。
- (2) 修了評価は、筆記試験により行う。ただし、介護に必要な基礎的知識の理解度及び生活支援技術の習得状況の評価については、併せて実技試験も行う。
- (3) 認定基準は、次の通り、理解度の高い順に A、B、C、D の4区分で評価した上で、C 以上の評価の受講者を評価基準を満たしたもものとして認定する。

評価基準に達しない場合には、必要に応じて補講等を行い、基準に達するまで再評価を行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

（公表する情報の項目）

東京都介護職員初任者研修事業実施要綱8に規定する情報の公表に基づき、当法人ホームページ（URL：<http://www.fukuyokai.com>）において開示する内容は、以下の通りとする。

（1）研修機関情報

法人情報（法人格、法人名称、住所、電話番号、代表者名）

研修機関情報（事業所名称・住所、理念、学則、研修施設、設備、在籍講師数（専任・兼任別））

（2）研修事業情報

研修の概要（対象、研修スケジュール（期間、日程、時間数）、定員、実習の有無、研修受講までの流れ（募集方法、申込方法等）、費用（受講料、テキスト代）、留意事項、研修担当責任者、研修の特色）研修カリキュラム（科目別シラバス（科目別学習計画）、担当講師一覧）

実習（協力実習機関の名称・住所等、実習プログラム内容、プログラムの特色、協力実習機関における延べ実習人数）

修了評価（修了評価の方法、評価者、再履修等の基準）

実績情報（過去の研修実施回数（年度ごと）、研修修了者数（年度ごと）、

過去の研修延べ参加人数、卒業後の相談・支援）

連絡先等（申し込み・資料請求先、法人の苦情対応者名・役職・連絡先、事業所の苦情対応者名・役職・連絡先）

質を向上させるための取り組み（実習の質の向上のための取り組み、研修機関と実習機関との連携）

平成 30 年度

事業報告書

社会福祉法人 福陽会

サンシャインビラ介護学院

〈介護福祉士実務者研修事業〉

事業報告書 目次

事業報告(総括)	1
受講者地域・男女別一覧表	2
教育課程の実施報告	3～6

事業報告

平成30年度の「介護福祉士実務者研修講座」は、事業計画通り3ヶ月コース2回、6ヶ月コース4回の研修を実施した。

実務経験3年以上に加え、研修修了が介護福祉士国家試験受験の必須要件であるため、受講生のモチベーションも高く、定められた期限内で研修カリキュラムを修了しようとする意気込みが感じられた。

各科目の講師は、50時間の教員講習会を修了した介護福祉士、並びに7時間の医療的ケア講習会を修了した正看護師が担当したが、念入りな授業案の作成、最新介護技術の導入、評価の方法を研究する等工夫を凝らした結果、充実した研修内容となった。

今後とも各科目の担当講師と定期的な会議や勉強会を設け、最新の情報を交換することで、研修全体の活性化・レベルアップに結び付ける努力をすることが必要である。

サンシャインビラ介護学院における実務者研修開始の情報は、学院の卒業生を含め徐々に浸透しつつある。今後もより多くの受講生を獲得するため、募集方法を研究し、近隣の介護施設へ出向くなど周知広報活動を徹底したい。

平成 30 年度 受講者地域・男女別一覧表

〈人〉

通算	第 1 回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	合計
福生市	3(1)	2(1)	4(1)	1(1)	3(2)	2(1)	15(7)
羽村市	2	1	2(1)		1	1	7(1)
青梅市	3	3(2)	5(1)	2(2)	5(2)	2(1)	20(8)
あきる野市		2	7(2)	3(2)	3(1)	2	17(5)
昭島市	5	4(2)	4(2)	5(1)	6(1)	1	25(6)
立川市	2		1		2(1)	2	7(1)
瑞穂町	1(1)	1			3(1)		5(2)
武蔵村山市	1	4	1(1)	1			7(1)
東大和市							
東村山市							
八王子市		1(1)	2		1		4(1)
日の出町					1	2	3
府中市					1		1
奥多摩町							
その他		1	2	2(1)	1	1	7(1)
合 計	17 (2)	19 (6)	28 (8)	14 (7)	27(8)	13(2)	118 (33)

※()内の数字は男性の受講者数

教育課程の実施報告

○実務者研修に係る授業時数及び履修認定については以下の通り実施した。

研修科目	時間数	無資格	訪問介護員研修			介護職員 初任者研修	介護職員 基礎研修	認知症 実践者研修	喀痰吸引 等研修
			1級	2級	3級				
人間の尊厳と自立	5	○						○	○
社会の理解Ⅰ	5	○						○	○
社会の理解Ⅱ	30	○		○	○	○		○	○
介護の基本Ⅰ	10	○			○			○	○
介護の基本Ⅱ	20	○			○	○		○	○
コミュニケーション技術	20	○		○	○	○		○	○
生活支援技術Ⅰ	20	○						○	○
生活支援技術Ⅱ	30	○			○			○	○
介護過程Ⅰ	20	○			○			○	○
介護過程Ⅱ	25	○		○	○	○		○	○
介護過程Ⅲ（スクーリング）	45 8日間	○	○	○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅰ	10	○		○	○	○		○	○
発達と老化の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
認知症の理解Ⅰ	10	○		○	○				○
認知症の理解Ⅱ	20	○		○	○	○			○
障害の理解Ⅰ	10	○		○	○			○	○
障害の理解Ⅱ	20	○		○	○	○		○	○
こころとからだの しくみⅠ	20	○			○			○	○
こころとからだの しくみⅡ	60	○		○	○	○		○	○
医療的ケア	50	○	○	○	○	○	○	○	
医療的ケア（スクーリング）	12 2日間	○	○	○	○	○	○	○	○
合計受講時間数	462	462	107	332	432	332	62	432	412

※○印は受講必須科目

○教職員組織

本学院の教職員組織は、以下の通りで実施した。

- (1) 学院長 1名
- (2) 教員 24名（専任1名、非常勤5名を含む）
- (3) 事務員 1名

○入所資格、入所選考、入所手続、休学、受講の取り消し、補講、修了認定は、以下の通りで実施した。

(入所資格)

多様化する高齢者等のニーズに対応した専門的な知識、技術を有する介護福祉士の資格取得を目指す、東京都内及び東京都近郊在住・在勤で通学可能な者。

(入所選考、入所手続)

- (1) 本学院の入所選考については、書類審査の上、受講者の決定を行い受講決定通知書を受講者宛てに通知する。
- (2) 本学院の入所手続は、指定の申込用紙に必要事項を記入の上、期日までに申し込む。ただし、定員に達した時点で申込み受付は終了する。
- (3) 受講決定通知書を受け取った受講者は、指定の期日までに受講料等を納入する。
- (4) 本学院は、受講料等の納入を確認した後、教材を郵送する。
- (5) 本学院は、受講申し込み時または開講日初日、以下の公的証明書の提示または提出により、本人確認を実施する。なお、本人確認ができない場合は、入所を拒否できることとする。
 - ・運転免許証の提示 ・健康保険証の提示 ・パスポートの提示
 - ・年金手帳の提示 ・住民基本台帳カードの提示 ・在留カード等の提示
 - ・戸籍謄本、戸籍抄本または住民票の提出 等

(研修欠席者の扱い)

理由の如何にかかわらず、研修開始から5分以上遅刻した場合は欠席とする。

また、やむを得ず欠席する場合には必ず「欠席届」を提出する。

(休学について)

やむを得ない事情があり休学する場合の期間は、最長で6ヶ月とする。

(受講の取り消し)

次に該当する者は、受講を取り消すことができる。

- (1) 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みがないと認められる者
- (2) 研修の秩序を乱し、受講者としての本分に反した者
- (3) 法令違反等、社会通念上、受講者として相応しくない者

(補講の取扱い)

研修の一部を欠席した者で、やむを得ない事情があると認められる者については、当該課程教科時間数の概ね1割を上限とし、本学院主催の他のクラスにて同科目の振替受講をすることにより、科目の履行を完了とする。

なお、振替受講は事前の申し出を原則とする。その際の受講料は無料とする。

(修了の認定)

修了の認定は、第9条の教育課程の定めるところにより、科目ごとに修了認定を行う。ただし、各科目の出席時間数が本学院の規定に定める時間数の3分の2に満たない者については、修了の認定をしないこととする。

認定方法については、以下の通りである。

- (1) 添削科目については、科目ごとにレポート(課題)を提出し、課題の理解度及び記述の的確性・論理性に応じて、担当講師が添削指導、評価を行う。

修了認定基準は、理解度の高い順にA、B、C、Dの4区分で評価した上で、C以上を修了と認定する。ただし、評価基準に達しない場合は、必要に応じて添削指導、評価を再度行う。

認定基準（100点を満点とする）

A=90点以上、B=80～89点、C=70～79点、

D=70点未満

(2) 介護過程Ⅲについては、講義及び演習にて小テストやチェックシート等を用いて、総合的評価を行う。

(3) 医療的ケアについては、下記の通りとする。

- ・基本研修（講義）：講義終了後、筆記試験を実施する。認定基準Aを合格として、認定基準に満たない者については追試を行う。
- ・基本研修（演習）：省令で定める実施回数以上の演習を実施後、技能習得判定を行う。演習評価基準で示す手順通りに実施できれば修了を認めることとする。なお、演習の修了が認められない者については、演習評価基準に達するまで演習を継続し、再度技能習得判定を行う。

(使用教材)

研修に使用する教材は、以下の通りである。

『実務者研修テキスト』 株式会社日本医療企画

全8巻セット（平成26年6月20日 第2版第1刷）

(修了者管理の方法)

修了者管理については、次により行う。

- (1) 修了者を修了者台帳に記載し永久保存する。
- (2) 修了証明書の紛失等があった場合は、修了者の申し出により再発行を行う。

(その他事項)

研修事業の実施に当たり、次の通り必要な措置を講じることとする。

- (1) 研修に関して下記の苦情等の窓口を設けて研修実施部署と連携し、苦情及び事故が生じた場合には迅速に対応する。
- (2) 事業実施により知り得た受講者等の個人情報のみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用しない。
- (3) 受講者等が実習等で知り得た個人情報をみだりに他人に知らせ、又は不当な目的に使用することのないよう受講者の指導を行う。

2018年度

サービス付き高齢者向け住宅
高齢者マンションサンシャインビラ
事業報告書

社会福祉法人福陽会

地域の高齢者に良好な居住環境を備えた高齢者向けの賃貸住宅の供給を提供し、併せて高齢者に適した良好な居住環境が確保され高齢者が安定的に居住することができる賃貸住宅について提供することで、福祉の増進に寄与することを目指し、事業展開を行った。

職員配置（2019年3月31日現在）

職名	職員配置	
管 理 者	1	常勤
事 務 員	1	常勤
調 理 員	6	非常勤
夜間待機職員	5	非常勤
介護スタッフ		非常勤若干名

【入居者入退去状況一覧】

(人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
新規入居者			1	1				3	2			2	9
退去者		3	1		2	1	1	1		1	2	1	13

【入居年数分布】

(人数)

1年未満	1年～2年	2年～5年	5年～7年	7年以上
8	6	13	4	6

【退去先】

(人数)

サンシャインビラ入所	1
第2サンシャインビラ入所	0
第3サンシャインビラ入所	1
転居・入院	6
死亡	5

【入居者の状況】 (3.31現在)

介護度

(人数)

自立	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合 計
	1		12	9	3	9	3	37

男・女 年齢分布

(人数)

	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳代以上
男		1	3	6	1
女				11	15
合 計		1	3	17	16

【年間行事実績】

催し	日程
観桜会 (第二)	4/8
お花見会 (第一)	4/1
観桜会 (第三)	4/23
お花見会 (マンションのエントランスで)	4/1
上福ビルの食事会	4/18 5/23 6/20 7/25 8/15 9/26 10/17 11/28 12/19 1/23 2/27 3/27
上福ビルのお茶会	4/11 5/9 6/13 7/18 8/8 9/12 10/10 11/14 12/12 2/13 3/13
第一納涼祭	7/8
第三納涼祭	7/21
福生祭り (夏祭り)	7/28、29
福生桜祭り (人力車)	3/31
文化祭	10/2 第2サンシャインビラ、11/3 第1サンシャインビラ
カラオケ会 (マンションのB1で)	6/16 9/30 10/21 12/5 1/1
消防訓練及び火災通報装置の説明他	4/13 10/16
ひょっとこ踊り (ボランティア)	1/20
編み物 (ボランティア)	4/4 5/2, 16 6/6, 20 7/4, 18 8/1, 15 9/5, 19 10/3, 10 11/7, 28 12/12, 19 1/9, 30 2/6, 20 3/6, 20
観桜会 (第二)	4/8

【クラブ活動】

毎週木曜日	体操
第2、第4火曜日	書道
第1、第3金曜日	手芸
第1、第3火曜日	折紙